

口演，論文，著書など

保健学部

臨床薬理学研究室

口 演

1. 細田香織, 山根絵美, 古田隆¹, 石井和夫 (¹東京薬大・薬): LC-MS/MSによるヒト血漿及び尿中イソフラボン代謝産物の高感度一斉分析法の検討. 第35回日本医用マスペクトル学会年会, 名古屋, 平成22年9月9日-10日.
2. 細田香織, 小林志江, 古田隆¹, 石井和夫 (¹東京薬大・薬): イソフラボン Genistein の代謝に関与する UGT 分子種の解明. 日本農芸化学会2011年度大会, 京都, 平成23年3月26-28日.
3. 細田香織, 山根絵美, 古田隆¹, 石井和夫 (¹東京薬大・薬): LC-MS/MSによるヒト血漿中のイソフラボン代謝産物の高感度・高選択一斉分析法の検討. 日本薬学会第131年会, 静岡, 平成23年3月28日-31日.

論 文

1. Hosoda K, Furuta T¹, Yokokawa A¹ & Ishii K (¹ Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences): Identification and quantification of daidzein-7-glucuronide-4'-sulfate, genistein-7-glucuronide-4'-sulfate and genistein-4',7-diglucuronide as major metabolites in human plasma after administration of *kinako*. *Anal Bioanal Chem* 397: 1563-1572, 2010.

分析化学・
生化学研究室

口 演

1. 岡田洋二, 田中薫¹, 佐藤英助², 丘島晴雄 (¹杏林大・保健・医用情報工学, ²青森大・薬・分析化学): Allicin 由来 2-propenesulfenic acid の抗酸化効果への関与. 日本薬学会第131年会, 静岡, 平成23年3月28-31日.
2. 田中薫¹, 岡田洋二, 丘島晴雄 (¹杏林大・保健・医用情報工学): アリシン (Allicin) における分子軌道と抗酸化活性の検討. 日本薬学会第131年会, 静岡, 平成23年3月28-31日.

論 文

1. Okada Y, Tanaka K, Sato E & Okajima H: Kinetics and antioxidative sites of capsaicin in homogeneous solution. *J Am Oil Chem Soc* 87: 1397-1405, 2010.

分子生物学研究室

口 演

1. Gamou S, Kubo-Murata M, Aimi Y, & Suzuki K¹ (¹Div 2, STAFF Inst): Earthworm Genomics-2010. "Annotating the Draft Genome of the Earthworm *Lumbricus rubellus*", Edinburgh. Jul. 21, 2010
2. 相磯聡子, 蒲生忍: 酸抵抗性レギュレーター GadE による small RNA ArrS の転写制御. 第12回日本 RNA 学会年会, 東京, 平成22年7月27日-29日

3. 吉野秀朗¹, 佐藤徹¹, 岡明², 蒲生忍, 小野正恵³, 片岡雅晴¹, 相見祐輝¹ (¹杏林大・医・二内, ²杏林大・医・小児, ³東京通信病院・小児): 肺動脈性肺高血圧症の遺伝子検査. 第39回杏林医学会総会, 三鷹, 平成22年11月21日
4. 相磯聡子, 村田麻喜子, 蒲生忍: 酸抵抗性のレギュレーター遺伝子 *gadE* に対するアンチセンス RNA ArrS の転写調節機構. 第39回杏林医学会総会, 三鷹, 平成22年11月21日
5. 村田麻喜子, 相見祐輝, 鈴木恒平¹, 蒲生忍 (¹STAFF 研究所): ツリミミズゲノムの繰り返し配列解析. 日本分子生物学会第33回年会, 神戸, 平成22年12月7-10日

論 文

1. 蒲生忍, McCormick TR¹ (¹Dept. Human. Bioethics, Univ. Washington): ワシントン州尊厳死法の成立. *生命倫理* 21:149-157, 2010.
2. 相磯聡子: 細菌 small RNA による遺伝子発現調節機構. *杏林医会誌* 41:12-17, 2010.

解剖学・
細胞生物学研究室

口 演

1. 堀江沙和, 中山智香子, 小山茂樹, 諸井和正, 高見茂: 鋤鼻受容細胞にみられた特徴的な滑面小胞体について. 第66回日本顕微鏡学会, 名古屋, 平成22年5月23-26日.
2. 高見茂, 堀江沙和, 長谷川瑠美, 神田憲一¹, 中村美樹² (¹株ドサイエンス, ²日本エフイー・アイ株): マイクロマニピュレータを装着した走査電子顕微鏡による鋤鼻感覚上皮の観察. 第66回日本顕微鏡学会, 名古屋, 平成22年5月23-26日.
3. 堀江沙和, 高見茂: ラット鋤鼻受容細胞の滑面小胞体についての形態学的解析. 第14回鋤鼻研究会, 高知県安芸郡, 平成22年6月11-13日.
4. 高見茂, 堀江沙和, 館野こずえ, 瀧上周, 長谷川瑠美: 鋤鼻受容細胞の樹状突起終端にサブタイプはあるのか? 第14回鋤鼻研究会, 高知県安芸郡, 平成22年6月11-13日.
5. 高見茂, 堀江沙和, 島幸夫, 八巻明子¹ (¹杏林大・保健・臨床検査・臨床化学): 鋤鼻系にみられるステロイド代謝酵素. 第44回日本味と匂学会, 北九州, 平成22年9月8-10日.
6. 堀江沙和, 高見茂, 八巻明子¹ (¹杏林大・保健・臨床検査・臨床化学): 嗅粘膜における性ステロイド代謝酵素. 第44回日本味と匂学会, 北九州, 平成22年9月8-10日.
7. 高見茂, 堀江沙和, 長谷川瑠美: マイクロマニピュレータ機能を備えた走査電子顕微鏡の嗅覚研究への適用. 第39回杏林医学会, 三鷹, 平成22年11月20日.
8. 堀江沙和, 八巻明子¹, 高見茂 (¹杏林大・保健・臨床検査・臨床化学): 嗅粘膜における性ステロ

イド代謝酵素の免疫局在. 第39回杏林医学会, 三鷹, 平成22年11月20日.

9. 長谷川瑠美: 嗅細胞特異的BDNF過剰発現ラットにおける関連分子の組織細胞局在. 第39回杏林医学会, 杏林大学, 平成22年11月20日.
10. (誌上開催) 堀江沙和, 八巻明子¹, 高見茂¹ (杏林大・保健・臨床検査・臨床化学): 嗅粘膜および鋤鼻器における性ステロイド代謝酵素の分布. 第88回日本生理学会大会 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会 合同大会, 横浜, 平成23年3月29日.
11. (誌上開催) 天野カオリ¹, 高見茂, 森山浩志², 堀江沙和, 灰塚嘉典¹, 島田和幸³, 松村譲児¹ (杏林大・医・解剖学,²昭和大・医・第二解剖学,³鹿児島大院・医歯学総合研究科): ヒト胎児耳下腺管の神経分布における免疫組織学的研究. 第88回日本生理学会大会 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会 合同大会, 横浜, 平成23年3月29日.
12. (誌上開催) 高見茂, 佐原資謹¹ (岩手医科大・生理学講座): 齧歯類嗅覚および鋤鼻系における性ステロイド代謝酵素の修飾についての細胞化学的根拠. 第88回日本生理学会大会 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会 合同大会, 横浜, 平成23年3月29日.

論文

1. 堀江沙和, 高見茂, 八巻明子¹ (杏林大・保健・臨床検査・臨床化学): 嗅粘膜における性ステロイド代謝酵素. 日本味と匂学会誌 17:193-196, 2010.
2. 高見茂, 堀江沙和, 島幸夫¹, 八巻明子² (杏林大・保健・分析化学・生化学,²杏林大・保健・臨床検査・臨床化学): 鋤鼻系にみられるステロイド代謝酵素. 日本味と匂学会誌 17:197-200, 2010.

臨床血液学・ 生理機能検査学研究室

口演

1. 司茂幸英: 次世代に伝えたい事伝えなければならぬことー心電図検査ー. 第46回関東甲信地区医学検査学会, 千葉, 平成22年2月7日
2. 渡辺美津子², 落合加代¹, 佐藤直子¹, 吉田聖子², 大藤弥穂², 司茂幸英 (看護部,²臨床検査部): 臨床検査部の視点で考察するー生理検査室における看護師の役割ー. 平成22年度看護研究発表会, 東京, 平成22年2月20日
3. 司茂幸英: 心電図波形の計測. 平成20年度基礎から学ぶ生理研修会, 東京, 平成22年6月20日.
4. 関根名里子, 山本寛¹, 西村伸大, 島幸夫², 東克巳¹ (病理,²分析・生化): 杏林大学保健学部におけるインターンシップー就職前職能訓練としての試みー. 第5回日本臨床検査学教育学会学術大会, 青森, 平成22年8月18-20日

5. 丹羽健¹, 森谷直樹¹, 菅野敬祐², 西村伸大 (意向研究所,²読売理工医療福祉専門学校): オレンジ精油の吸入における生理学的指標の影響. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27-29日.

論文

1. 東克巳: リンパ腫の臨床検査. 日本検査血液学会雑誌 11(2):242-245, 2010.
2. 東克巳: 免疫反応の基礎 検査法: フローサイトメトリー. 検査と技術 38(10):766-769, 2010.
3. 東克巳: フローサイトメトリーによる血液疾患の診断と評価. 血液フロンティア 21(2):197-208, 2011.
4. 東克巳: 血液形態異常の捉え方 骨髄異形成症候群 (MDS) を中心に. 東京都臨床検査技師会雑誌 39(2): 86-87, 2011.

著書

1. 東克巳: 臨床血液検査 臨床検査法提要 (改訂第33版), 金井正光監修, 東京, 金原出版株式会社, 2010, p.189-201, 214-250.
2. 東克巳: 血液・凝固. 線溶検査 パーフェクト 検査値辞典, 中原一彦監修, 東京, 株式会社総合医学社, 2011, p.312-322.

その他

1. 司茂幸英 (実技講師): 健康運動指導士講習会, 東京, 平成22年1月11日.
2. 司茂幸英 (実務委員): 第7回都臨技医学検査学会, 東京, 平成22年3月7日.
3. 西村伸大: 「有料老人ホーム幸楽壺番館でのアロマセラピーを用いたボランティア活動 (アロマ石鹸作り等)」大学コンソーシアム八王子 (八王子未来学) における地域交流活動, 八王子, 平成22年5月22日.
4. 司茂幸英 (実務委員): 平成22年度日臨技主催生理機能検査部門研修会, 東京, 平成22年6月6日
5. 司茂幸英 (実技講師): 平成21年度基礎から学ぶ生理研修会, 東京, 平成22年6月20日.
6. 司茂幸英 (資格認定試験委員): 緊急試験生理機能検査, 東京, 平成22年7月18日.
7. 西村伸大: 「有料老人ホーム幸楽壺番館でのアロマセラピーを用いたボランティア活動 (アロマ香/スプレー作り等)」大学コンソーシアム八王子 (八王子未来学) における地域交流活動, 八王子, 平成22年7月24日.
8. 司茂幸英 (実技講師): 都臨技生理研修会不整脈心電図の考え方 (ラダーグラムを用いて), 東京, 平成22年10月2日.
9. 西村伸大: 「アロマセラピーによるボランティア活動」, 八王子未来学コラム, 八王子未来学監修, 平成22年10月22日.
10. 西村伸大: ハンドマッサージ, お香・石鹸作りのデモンストレーション, 八王子老人クラブ連合会主催会合, 八王子市民体育館, 平成22年10月30日.
11. 司茂幸英 (実技講師): 健康運動指導士講習会, 東京, 平成22年11月21日.

12. 西村伸大：医療系学部教員による合同ワークショップ参加, 丸紅多摩センター研修所 (主催：東京薬科大学/後援：日本薬学会), 平成22年12月26-28日。
13. 西村伸大：「大学における医療人養成推進等委託事業」薬学教育における現状と課題に関する調査研究。文部科学省報告書, p.136, 平成23年3月15日。
14. 西村伸大：アロマテラピー教育の連携による八王子市民への貢献活動。八王子未来学事業成果報告書「八王子の未来への提言」, 東京, 文部科学省戦略的連携支援事業, 2011. p.31-37。

免疫学研究室

口 演

1. 小野川傑、松田直之¹、田口晴彦 (1 京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学分野)：敗血症低体温時における抗炎症状態の早期離脱にむけた IL-6 シグナルの有用性。第 84 回日本感染症学会総会, 京都, 平成 22 年 4 月 5 日～6 日。
2. 新江賢、平田雅子、蔵田訓¹、神谷茂¹、田口晴彦 (1 杏林大学医学部感染症学講座)：Mycoplasma pneumoniae の持続感染はマイコプラズマ肺炎を増悪する。第 84 回日本感染症学会総会, 京都, 平成 22 年 4 月 5 日～6 日。
3. 蔵田訓¹、田口晴彦、大崎敬子¹、佐藤万里絵²、岡健太郎²、新江賢、高橋志達²、神谷茂¹ (1 杏林大学医学部感染症学講座, ² ミヤリサン製薬株式会社)：Mycoplasma pneumoniae 抗原感作が Th17 細胞および制御性 T 細胞に及ぼす影響。第 84 回日本感染症学会総会, 京都, 平成 22 年 4 月 5 日～6 日。
4. Saito-Taki T¹, Suka J¹, Onogawa T, and Kitasato H¹ (1 Microbiology, Kitasato University): Increased resistance against MRSA-infection in immunocompromized hosts by injection of IL-12 producing cells. 97th Annual meeting of the American association of immunologists, Baltimore, May 8, 2010.
5. 平田雅子, 新江賢, 蔵田訓¹, 神谷茂¹, 田口晴彦 (1 杏林大学医学部感染症学講座)：Mycoplasma pneumoniae 抗原刺激による IL-8 産生への EGFR シグナル伝達経路の関与。第 37 回日本マイコプラズマ学会学術集会, 東京, 平成 22 年 6 月 10 日～11 日。
6. 小野川傑、松田直之¹、和田貴子²、田口晴彦、山口芳裕³ (1 名古屋大学大学院医学研究科救急・集中治療医学分野, ² 杏林大学保健学部救急救命学, ³ 杏林大学医学部救急医学)：敗血症における抗炎症状態の早期離脱にむけた IL-6 シグナルの有用性。第 38 回日本救急医学会総会・学術集会, 東京, 平成 22 年 10 月 9 日～11 日。
7. 田口晴彦, 新江賢：ハムスターを用いたマイコプラズマ肺炎モデルの作成。第 2 回マイコプラズ

- マ関連疾患研究会, 東京, 平成 22 年 11 月 13 日。
8. 蔵田訓¹、大崎敬子¹、田口晴彦、神谷茂¹ (1 杏林大学医学部感染症学講座)：Clostridium difficile toxin A および toxin B 迅速診断キットの基礎的評価。第 22 回日本臨床微生物学会総会, 岡山, 平成 23 年 1 月 8 日～9 日。
 9. 岡健太郎¹、Timothy Woo²、大崎敬子²、花輪智子²、蔵田訓²、杉山絵美¹、高橋志達²、田中守¹、田口晴彦、稲松孝思³、神谷茂² (1 ミヤリサン製薬株式会社, ² 杏林大学医学部感染症学講座, ³ 東京都健康長寿医療センター)：Metronidazole および乾燥卵白を用いたラット抗菌薬関連下痢症モデルにおける Clostridium butyricum の有用性についての検討。第 44 回日本無菌・ノートバイオロジー学会総会, 札幌, 平成 23 年 1 月 13 日～14 日。

論 文

1. 田口晴彦, 蔵田訓¹, 神谷茂¹ (1 杏林大学医学部感染症学講座)：マイコプラズマ肺炎における宿主免疫応答の重要性－発症メカニズムとクラリスロマイシンの有効性ととの関係－。診療と新薬 47: 1079-1086, 2010.
2. 蔵田訓¹、大崎敬子¹、田口晴彦、神谷茂¹ (1 杏林大学医学部感染症学講座)：Clostridium difficile toxin 迅速検査キットの基礎的評価。臨と微生物 37: 465-470, 2010.
3. 平田雅子, 新江賢, 蔵田訓¹, 神谷茂¹, 田口晴彦 (1 杏林大学医学部感染症学講座)：Mycoplasma pneumoniae 抗原刺激による IL-8 産生への EGFR シグナル伝達経路の関与。日本マイコプラズマ会誌 37: 48-49, 2010.
4. 神谷茂¹、田口晴彦、山口博之²、Chakaya M J³、Bii CC³ (1 杏林大学医学部感染症学講座, ² 北海道大学大学院保健学研究院, ³ Kenya Medical Research Institute)：ケニア国の小児におけるマイコプラズマ肺炎の PCR 診断。日本マイコプラズマ会誌 37: 75-76, 2010.
5. Oboki K¹, Ohno T¹, Kajiwaru N¹, Arae K, Morita H¹, Ishii A¹, Nambu A², Abe T³, Kiyonari H³, Matsumoto K¹, Sudo K⁴, Okumura K², Saito H¹, Nakae S⁵ (1 Department of Allergy and Immunology, National Research Institute for Child Health and Development, ² Atopy Research Center, Juntendo University, ³ Laboratory for Animal Resources and Genetic Engineering, Center for Developmental Biology, Institute of Physical and Chemical Research, ⁴ Animal Research Center, Tokyo Medical University, ⁵ Frontier Research Initiative, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo): IL-33 is a crucial amplifier of innate rather than acquired immunity. Proc Natl Acad Sci USA 107:18581-18586, 2010.
6. Ishii A¹, Oboki K¹, Nambu A², Morita H¹, Ohno

- T¹, Kajiwara N¹, Arae K, Sudo H², Okumura K², Saito H¹, Nakae S³ (¹Department of Allergy and Immunology, National Research Institute for Child Health and Development, ²Atopy Research Center, Juntendo University, ³Frontier Research Initiative, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo): Development of IL-17-mediated delayed-type hypersensitivity is not affected by down-regulation of IL-25 expression. *Allergol Int* 59: 399-408, 2010.
7. Kurata S¹, Taguchi H, Sasaki T², Fujioka Y³, and Kamiya S¹ (¹ Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine, Department of 1st Internal Medicine, ² Pharmaceuticals and Medical Devices Agency, ³Department of Pathology, Kyorin University School of Medicine): Antimicrobial and immunomodulatory effect of clarithromycin on macrolide-resistant *Mycoplasma pneumoniae*. *J Med Microbiol* 59: 693-701, 2010.
8. 田口晴彦：原因不明疾患と感染症－微生物感染と病態－. *臨と微生物* 38: 3-8, 2011.

臨床検査学・ 臨床化学研究室

口 演

1. Terpstra BT^{1,3}, Lipton JW^{2,4}, Collier TJ¹, Muratsubaki H, Levine ND¹, Wohlgenant SL¹, Cole-Strauss AD¹, Paumier KL^{1,3}, Gombash SE^{1,3} & Sortwell CE^{1,4} (¹ Univ Cincinnati, Dept Neurol, ² Univ Cincinnati, Dept Psychiat, Cincinnati, ³ Univ Cincinnati, Grad Program Neurosci, Cincinnati, ⁴ Michigan State Univ, Div Translat Sci & Mol Med): Allantoin, the End Product of Purine Metabolism in Rodents, Mediates Neuroprotection Provided by Inosine in the 6-OHDA Model of Parkinson's Disease. 17th Annual Meeting of the American Society for Neural Therapy and Repair, Clearwater Beach, April 29-May 1, 2010.
2. Terpstra BT^{1,3}, Lipton JW^{2,4}, Collier TJ¹, Muratsubaki H, Levine ND¹, Wohlgenant SL¹, Cole-Strauss AD¹, Gombash SE^{1,3} & Sortwell CE^{1,4} (¹ Univ Cincinnati, Dept Neurol, ² Univ Cincinnati, Dept Psychiat, ³ Univ Cincinnati, Grad Program Neurosci, Cincinnati, ⁴ Michigan State Univ, Div Translat Sci & Mol Med): Allantoin is the Neuroprotective Metabolite of Inosine in a Rodent Model of Parkinson's Disease. 14th International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders, Buenos Aires, June 13-17, 2010.
3. 坂内久一, 菰田照子: *Chlamydia trachomatis* 感染症患者血清の immunoblot 像の継時的推移およびバンド間の関係について－イムノクロマトリーダによる解析－. 第78回日本細菌学会北海道支部総会・第28回日本クラミジア研究会合同学術集会, 札幌,

平成22年9月4日.

4. 堀江沙和¹, 高見茂¹, 八巻明子 (¹杏林大・保・解剖学・細胞生物学): 嗅粘膜における性ステロイド代謝酵素. 第44回日本味と匂学会大会, 福岡, 平成22年9月8-10日.
5. 高見茂¹, 堀江沙和¹, 島幸夫², 八巻明子 (¹杏林大・保・解剖学・細胞生物学, ²杏林大・保・分析化学・生化学): 鋤鼻系にみられるステロイド代謝. 第44回日本味と匂学会大会, 福岡, 平成22年9月8-10日.
6. 坂内久一, 菰田照子, 大島俊文¹, 岩田敏², 秋田博伸³, 佐藤吉壮⁴, 本村龍太郎⁵, 砂川慶介⁶ (¹明治乳業株式会社, ²慶応大・医・感染制御センター, ³聖マリアンナ医大横浜市西部病院・小児科, ⁴富士重工業健康保険組合総合太田病院・小児科, ⁵もとむら産婦人科医院, ⁶北里大学生命科学研究所): イムノクロマトリーダを用いた *Chlamydia trachomatis* 感染症患者血清の immunoblot 像の継時的推移およびバンド間の関係について. 第59回日本感染症学会東日本地方会, 東京, 平成22年10月22日.

論 文

1. 堀江沙和¹, 高見茂¹, 八巻明子 (¹杏林大・保・解剖学・細胞生物学): 嗅粘膜における性ステロイド代謝酵素. *日本味と匂学会誌* 17:193-196, 2010.
2. 高見茂¹, 堀江沙和¹, 島幸夫², 八巻明子 (¹杏林大・保・解剖学・細胞生物学, ²杏林大・保・分析化学・生化学): 鋤鼻系にみられるステロイド代謝. *日本味と匂学会誌* 17:197-200, 2010.

著 書

1. 菰田照子 (分担執筆): III. 微生物検査. クラミジアの染色. 最新染色法のすべて. 水口國雄ほか編. 東京, 医歯薬出版, 2011. p.358-359.

その他

1. 村椿春博: 世界七大ミステリー (人体の奇跡スペシャル) 「不食」について解説, テレビ東京, 2010年4月4日.
2. 村椿春博: 世界七大ミステリー (人体の奇跡スペシャル Part 2) 「不食」について解説, テレビ東京, 2010年10月1日.
3. 菰田照子 (受賞): 女性生殖器系細胞における *Chlamydia trachomatis* の増殖性と薬物効果測定－Real-time PCR法を用いた評価－. 日本臨床衛生検査技師会奨励賞優秀論文賞, 平成22年5月22日.

細胞診断学研究室

口 演

1. 郡秀一, 飯島淳子, 籾ひろみ, 安井英明: 臨床検査技師のためのハンドアウト作成工夫－オンラインストレージサービスの検討－. 第59回日本医学検査学会, 神戸, 平成22年5月23日.
2. 郡秀一, 飯島淳子, 籾ひろみ, 大河戸光章¹, 山本寛¹, 高見茂², 藤井雅彦¹, 安井英明 (¹杏林大・保・病理学, ²杏林大・保・解剖・細胞生物学): 細胞検査士教育のあゆみ－細胞検査士養成課程

における最近の問題点とその共有。第 51 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 横浜市, 平成 22 年 5 月 31 日。

その他

1. 安井英明 (座長): 特別講演② “がん” トランスレーショナル・リサーチの推進 第 51 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 横浜, 平成 22 年 5 月 30 日。

細胞遺伝学研究室

口 演

1. 関澤浩一, 加藤誠久¹, 田辺秀之², 岸邦和 (杏林大・保健・公衆衛生, ²総研大・先導科学): 核型練習ソフトの開発。第 141 回染色体研究会, 東京, 平成 22 年 4 月 10 日。
2. 関澤浩一, 加藤誠久¹, 岸邦和 (杏林大・保健・公衆衛生): ヒト核型を理解するための学習ソフトウェアの開発。第 34 回日本遺伝カウンセリング学会, 東京, 平成 22 年 5 月 30 日。
3. 関澤浩一, 加藤誠久¹, 石井康介, 黒澤健司², 田辺秀之³, 岸邦和 (杏林大・保健・公衆衛生, ²神奈川県立こども医療センター・遺伝科, ³総研大・先導科学): 染色体検査のためのヒト核型分析学習ソフトウェアの開発。第 5 回日本臨床検査学教育学会学術大会, 青森, 平成 22 年 8 月 19 日。
4. 平岡厚, 篠原厚子^{1,2} (清泉女子大・人文科学研, ²順天堂大・医・衛生): 「白金ナノコロイド水」及び「水素水」の飲用効果の検討。フォーラム 2010: 環境・衛生トキシコロジー。東京。平成 22 年 9 月 10 日。
5. 喜多謙治¹, 福土恵一¹, 平岡厚, 鈴木祥史², 副島昭典², 宮道隆³: (神戸大院・海事科学, ²杏林大・保健・臨工, ³近畿職能開発大): キャピラリーゾーン電気泳動による血清中陰イオンの定量。日本分析化学会第 59 回年会。仙台, 平成 22 年 9 月 15 日。
6. 鈴木祥史¹, 山下勇貴¹, 須田健二¹, 平岡厚, 松山幸枝², 南武志², 恵良聖一², 副島昭典¹ (杏林大・保健・臨床工学, ²岐阜大・医・分子生理): 水素水及び還元薬剤を添加した透析液を用いたアルブミンの透析とその効果。第 22 回腎とフリーラジカル研究会, 東京, 平成 22 年 10 月 16 日。
7. 関澤浩一, 加藤誠久¹, 石井康介, 黒澤健司², 田辺秀之³, 岸邦和 (杏林大・保健・公衆衛生, ²神奈川県立こども医療センター・遺伝科, ³総研大・先導科学): 染色体構造異常を中心としたヒト核型分析学習ソフトウェアの開発。日本人類遺伝学会第 55 回大会, 埼玉, 平成 22 年 10 月 28 日。
8. 関澤浩一, 加藤誠久¹, 田辺秀之², 岸邦和 (杏林大・保健・公衆衛生, ²総研大・先導科学): マウス核型分析練習ソフトウェアの開発。染色体学会第 61 回年会, 千葉, 平成 22 年 11 月 7 日。
9. 平岡厚, 近藤浩文¹ (株) バイオリサーチ):

オルトジフェノールの酸化生成物オルトキノンのアリアルスルフォニル誘導体化及びその応用。第 43 回酸化反応討論会, 東京, 平成 22 年 11 月 12 日。

10. 平岡厚: 諸「機能水」の性状と実体及び実際の効能の検討。第 39 回杏林医学会総会, 三鷹, 平成 22 年 11 月 24 日。(平成 21 年度「保健学部個人研究奨励賞」報告)。

論 文

1. Hiraoka A, Inaba H, Suzuki E, Kasai K, Suzuki H, Shinohara A¹, Shirao M², Kubo K³ & Yoshimura Y⁴ (¹Seisen Univ, ²Jissen Women's Col, ³Nihon Pharmaceut Univ, ⁴Nihon Integr Med Inst): *In vitro* physicochemical properties of neutral aqueous solution systems (water products as drinks) containing hydrogen gas, 2-carboxyethyl germanium sesquioxide and platinum nanocolloid as additives. *J Health Sci*, 56: 167-174, 2010.
2. Hiraoka A, Shinohara A^{1,2} & Yoshimura Y³ (¹Seisen Univ, ²Juntrndo Univ Sci Med, ³ Nihon Integr Med Inst): Studies on the physicochemical properties and existence of water products (as drinks) advertised as having smaller cluster sizes of H₂O molecules than those of regular water. *J Health Sci*, 67: 717-720, 2010.

著 書

1. 平岡厚: 現代日本におけるオカルト・疑似科学の動向と問題点。現代文明の哲学的考察。田上孝一, 西田照見編。東京, 社会評論社, 2010, p.320-352.
2. 田村高志: III 章 使用する機器・器具・試薬。臨床検査学実習書シリーズ 遺伝子検査学実習書。岩谷良則編。日本臨床検査学教育協議会監修。東京, 医歯薬出版, 2010, p.13-20.

その他

1. 平岡厚: パーシヴァル・ローエルの「オカルト・ジャパン」について (第 13 報)。杏林大学研究報告教養部門。28: 59-67, 2010.

環境保健学・
人類生態学研究室

学会発表

1. 後藤恭一^{1,2}, 関健介², 久米美代子³, 金子哲也^{1,2} (¹AEIF 航空環境研究センター, ²杏林大学, ³東京女子医科大学): 航空機騒音による精神的影響に関する検討, 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成 22 年 10 月 28 日

論 文

1. 後藤恭一^{1,2}, 金子哲也^{1,2} (¹AEIF 航空環境研究センター, ²杏林大学): 航空機騒音による睡眠影響, *航空環境研究* 15: 12-15, 2011

公衆衛生学研究室

口 演

1. 小田美土里^{1,2}, 田邊郁恵^{2,3}, 篠場沙希^{2,4}, 加藤英世², 石野晶子², 万年宏美², 大久保良彦², 太田ひろみ⁵, 岩見文博, 照屋浩司, 加藤昌代⁵ (1 横浜市立本宿小学校, 2 杏林大・保健・母子保健学, 3 都立青井高等学校, 4 府中市立みどり幼稚園, 5 杏林大・保健・地域看護学): 幼児の重心動揺量の経年変化とその関連要因. 第57回日本小児保健学会, 新潟, 平成22年9月16日~18日.
2. 松井知子¹, 渡会理映子², 岡本博照², 大嶺智子¹, 照屋浩司, 角田透² (1 杏林大・保・健康教育学, 2 杏林大・医・衛生学公衆衛生学): 口腔内状況が精神的健康度に及ぼす影響. 第75回日本民族衛生学会総会, 札幌, 平成22年9月25~26日.
3. 上村隆元¹, 古庄律², 岡本博照¹, 松井知子³, 照屋浩司, 角田透¹ (1 杏林大・医・衛生学公衆衛生学, 2 東京農大・栄養, 3 杏林大・保・健康教育学): 初等教育における食育プログラム—その効果的手法の開発と実践・評価法の検討—. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27~29日.
4. 岡本博照¹, 照屋浩司, 大嶺智子², 深澤進次¹, 福田潤², 岩見文博, 松井知子², 土田幸介¹, 渡会理映子¹, 上村隆元¹, 角田透¹ (1 杏林大・医・衛生学公衆衛生学, 2 杏林大・保・健康教育学): M市における運動相談事業による中高年者の健康への影響について. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27~29日.
5. 照屋浩司, 岩見文博, 片桐朝美¹, 太田ひろみ², 石野晶子³, 大嶺智子⁴, 加藤英世³ (1 杏林大・保・精神保健学社会福祉学, 2 杏林大・保・地域看護学, 3 杏林大・保・母子保健学, 4 杏林大・保・健康教育学): 幼児における音響的骨評価値の経年的変化と成長との関連について. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27~29日.
6. 岩見文博, 阿部千春¹, 石野晶子¹, 林幹泰², 加藤英世¹, 照屋浩司 (1 杏林大・保・母子保健学, 2 杏林大・保・精神保健学社会福祉学): 子の障害を要因とした親子自他殺に関する研究. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27~29日.
7. 太田ひろみ¹, 照屋浩司, 岩見文博, 片桐朝美², 加藤英世³ (1 杏林大・保・地域看護学, 2 杏林大・保・精神保健学社会福祉学, 3 杏林大・保・母子保健学): 個人レベルのソーシャル・キャピタルと高齢者の日常生活満足度との関連. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27~29日.
8. 竹前理映子¹, 上村隆元¹, 能登真一², 岡本博照¹, 松井知子³, 深澤進次¹, 土田幸介¹, 照屋浩司, 角田透¹ (1 杏林大・医・衛生学公衆衛生学, 2 新潟医療福祉大・医療技術・作業療法学, 3 杏林大・保・健康教育学): HUIを用いた健康効用値の評価第11報. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京,

平成22年10月27~29日.

9. 岩見文博, 照屋浩司, 片桐朝美¹, 太田ひろみ², 石野晶子³, 大嶺智子⁴, 加藤英世³ (1 杏林大・保健・精神保健学社会福祉学, 2 杏林大・保健・地域看護学, 3 杏林大・保健・母子保健学, 4 杏林大・保健・健康教育学): 幼児における音響的骨評価値の経年的変化と成長との関連について. 第39回杏林医学会, 三鷹, 平成22年11月20日.
10. 田邊郁恵^{1,2}, 小田美土里^{2,3}, 篠場沙希^{2,4}, 加藤英世², 石野晶子², 大久保良彦², 照屋浩司, 岩見文博, 太田ひろみ⁵ (1 都立青井高等学校, 2 杏林大・保健・母子保健学, 3 横浜市立本宿小学校, 4 府中市立みどり幼稚園, 5 杏林大・保健・地域看護学): 幼児の重心動揺量の経年変化とその関連要因. 第57回日本学校保健学会, 埼玉, 平成22年11月27日~28日.
11. 松井知子¹, 岡本博照², 照屋浩司, 大櫛重光³, 角田透² (1 杏林大・保・健康教育学, 2 杏林大・医・衛生学公衆衛生学, 3 上智大): 福祉施設職員のメンタルヘルス対策の体制づくりで留意する点. 第18回日本産業ストレス学会, 神戸, 平成23年1月28日.

論 文

1. 眞鍋知子¹, 照屋浩司, 堂本英治¹, 柳田茂樹¹, 瓜生田曜造¹, 櫻井裕¹ (1 防衛医科大学 衛生学公衆衛生学講座), 健康維持と青年期の運動能力との関連 (Relationship between physical ability in young adulthood and a sustained healthy condition in later life)(英語). 防衛医科大学雑誌 35 巻 1号, 43-47, 2010
2. Jinno M¹, Takeuchi M², Watanabe A¹, Teruya K, Hirohama J¹, Eguchi N¹, and Miyazaki A³ (1 Women's Clinic Jinno, 2 Department of Life Pharmacy, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Hokuriku University, 3 HUSHIMI Pharmaceuticals), Advanced glycation end-products accumulation compromises embryonic development and achievement of pregnancy by assisted reproductive technology. Hum. Reprod. 26(3):604-610, 2011.

その他

1. 照屋浩司: 健康増進と介護予防. 「脳健康教室」平成21年度認知症予防事業報告会, 三鷹, 平成22年5月15日.

母子保健学研究室

口 演

1. 加藤英世: 知的障害児者の健康支援. 東京都知的障害者育成会 とぶき育成園. 東京. 平成22年4月23日.
2. 加藤英世: 生徒に対する救急対応 (CPR と AED). 八王子市立柵田中学校, 平成22年6月14日.
3. 加藤英世: 知的障害児の行動異常とその指導方法. 都立小金井特別支援学校校内研修会. 平成22年

7月2日.

4. 小田美土里^{1,2}, 田邊郁恵^{2,3}, 篠場沙希^{2,4}, 加藤英世², 石野晶子², 万年宏美², 大久保良彦², 太田ひろみ⁵, 岩見文博⁶, 照屋浩司⁶, 加藤昌代⁵ (¹横浜市立本宿小学校, ²杏林大・保・母子保健学, ³都立青井高等学校, ⁴府中市立みどり幼稚園, ⁵杏林大・保・地域看護学, ⁶杏林大・保・公衆衛生学): 幼児の重心動揺量の経年変化とその関連要因. 第57回日本小児保健学会, 新潟, 平成22年9月17日.
5. 岩見文博¹, 阿部千春, 石野晶子, 林幹泰², 加藤英世, 照屋浩司¹ (¹杏林大・保・公衆衛生学, ²杏林大・保・精神保健学社会福祉学): 子の障害を要因とした親子自他殺に関する研究. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月29日.
6. 太田ひろみ¹, 照屋浩司³, 岩見文博³, 片桐朝美², 加藤英世 (¹杏林大・保・地域看護学, ²杏林大・保・精神保健学社会福祉学, ³杏林大・保・公衆衛生学): 個人レベルのソーシャル・キャピタルと高齢者の日常生活満足度との関連. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月29日.
7. 片桐朝美¹, 内山有子², 石野晶子, 松田博雄³, 加藤英世 (¹杏林大・保・精神保健学社会福祉学, ²日本女子体育大学, ³淑徳大学・総合福祉学部): 予防接種の現状と保護者の意識・認識に関する研究. 第69回日本公衆衛生学会, 東京, 平成22年10月29日.
8. 岩見文博³, 照屋浩司³, 片桐朝美¹, 太田ひろみ², 石野晶子, 大嶺智子⁴, 加藤英世 (¹杏林大・保・精神保健学社会福祉学, ²杏林大・保・地域看護学, ³杏林大・保・公衆衛生学, ⁴杏林大・保・健康教育学): 幼児における音響的骨評価値の経年的変化と成長との関連について. 第39回杏林医学会, 三鷹, 平成22年11月20日.
9. 田邊郁恵^{1,2}, 小田美土里^{2,3}, 篠場沙希^{2,4}, 加藤英世², 石野晶子², 大久保良彦², 照屋浩司⁶, 岩見文博⁶, 太田ひろみ⁵ (¹都立青井高等学校, ²杏林大・保・母子保健学, ³横浜市立本宿小学校, ⁴府中市立みどり幼稚園, ⁵杏林大・保・地域看護学, ⁶杏林大・保・公衆衛生学): 幼児の足底円蓋形成の実態と重心動揺量との関連性. 第57回日本学校保健学会, 坂戸, 平成22年11月28日.
10. 太田ひろみ¹, 照屋浩司², 加藤英世, 朝野聡³ (¹杏林大・保・地域看護学, ²杏林大・保・公衆衛生学, ³杏林大・保・健康教育学): 保健医療系学生の喫煙行動—2000年調査との比較—. 第57回日本学校保健学会, 坂戸, 平成22年11月28日.
11. 加藤英世: 知的障害児の習癖と生活支援. 都立小金井特別支援学校校内研修会, 東京, 平成23年1月28日.

論文

1. 阿部千春: 母による親子自他殺の動機とその背景要因に関する研究. 民族衛生. 76(3):109-119, 2010.

精神保健学・ 社会福祉学研究室

口演

1. 田島治: 躁うつ病—病気の理解と対処法. 調布市社会福祉協議会こころの健康講演会, 東京, 平成22年4月24日.
2. 田島治: 今再びうつ病の診断・治療について考える—広がる双極性障害の概念と薬物療法をめぐる問題. 北河内アステラス向精神薬セミナー, 枚方, 平成22年5月14日.
3. 田島治: うつ病治療と自殺をめぐる問題—その現状と対策について考える. 山形自殺予防対策講演会, 山形, 平成22年6月5日.
4. 田島治: うつ病とは何か. みたかボランティアセンター講演会, 三鷹, 平成22年6月26日.
5. 田島治: 双極性障害の診断と治療の動向—bipolarityをどのように考えるか. 第7回安房精神科懇話会, 鴨川, 平成22年7月7日.
6. 田島治: 気分障害の治療再考—慢性化したうつ病・うつ状態の診立てと治療. 第6回兵庫精神科診療所協会学術講演会, 神戸, 平成22年7月10日.
7. 田島治: なかなか治らないうつ病をどう考えるか—その診立てと治療の私案. 八戸精神科医会, 八戸, 平成22年7月21日.
8. 田島治: 統合失調症に伴ううつ状態の診断と治療. 第3回精神科治療薬を考える会, 川崎, 平成22年10月8日.
9. 田島治: うつ病治療薬の基礎知識. 自殺対策うつ病分科会IN神戸プログラム. 神戸, 平成22年10月24日.
10. 田島治: うつ病の薬物治療をどう考えるか. うつ病治療懇話会, 札幌, 平成22年10月30日.
11. 田島治: 遷延したうつ病・うつ状態の診立てと治療をどうするか—bipolarityを考慮した治療戦略. 第12回多摩精神薬理研究会, 八王子, 平成22年11月4日.
12. 田島治: 双極性障害の病態と治療. 気分障害を考える会, 浦安, 平成22年11月13日.
13. 田島治: うつ病の薬物療法. 第2回メディアラウンドテーブル現代型・新型と呼ばれるうつ病を考える, 東京, 平成22年11月24日.
14. 田島治: なかなか治らないうつ病をどう考えるか—その診立てと治療の私案. 平成22年福島県精神科診療所協会学術講演会, 郡山, 平成22年11月27日.
15. 田島治: 抑うつ・不安障害治療における5-HT1A受容体刺激薬の位置付け. Sediel不安障害中日専門家学術研究会, 北京, 平成22年12月9日.
16. 田島治: 抑うつ・不安障害治療における5-HT1A受容体刺激薬の位置付け. Sediel不安障害中日専門家学術研究会, 上海, 平成22年12月10日.

17. 田島治：抑うつ・不安障害治療における5-HT1A受容体刺激薬の位置付け。Sediel不安障害中日専門家学術研究会，広州，平成22年12月11日。
18. 田島治：こころの病気・障がいとは。平成22年度メンタルヘルスポランテニア講座，三鷹，平成23年1月15日。
19. 田島治：プライマリケアにおけるうつ病・うつ状態の診断と治療。第1回豊島区医師会うつ診療充実強化研修事業研修会，東京，平成23年1月27日。
20. 田島治：双極性障害の診断と治療の動向－bipolarityをどのように考えるか。JOY-リンク，東京，平成23年2月2日。
21. 田島治：知っておきたいうつ病の病態と診断・治療のポイント。国立市保健センターこころの健康づくり講演会，国立，平成23年2月7日。
22. 田島治：うつ病の診断・治療の最近の動向。第1回杉並区医師会うつ診療充実強化研修事業研修会，東京，平成23年2月18日。
23. 田島治：メンタルヘルス不調と職場復帰をめぐる問題。杉並・中野・新宿区医師会産業医研修会，東京，平成23年2月26日。
24. 下島裕美：ストレス社会を乗り切る工夫を考える－イライラと上手につきあおう－。杏林大学公開講座，杏林大学医学部大学院講堂，2010年7月10日。
25. 下島裕美：時間的展望と健康行動－日本版ジンバルドー時間的展望尺度を用いて－。日本教育心理学会第52回大会，早稲田大学，2010年8月28日。
26. 下島裕美：日本版ジンバルドー時間的展望尺度の年齢差と健康行動。日本心理学会第74回大会，大阪大学，2010年9月20日。
27. Shimojima, Y and Hayashi, E. How to include your pet's death in good recollections. 9th Tsukuba International Conference on Memory, Gakusyuin University, March 7, 2011
28. 片桐朝美，内山有子，石野晶子，松田博雄，加藤英世。予防接種の現状と保護者の意識・認識に関する研究。第69回日本公衆衛生学会総会。2010年10月27日～29日。
29. 熊井利廣：児童虐待と学校。狛江市公立学校教職員研修会，東京，平成22年8月5日。
30. 熊井利廣：子ども虐待－地域のネットワークはなぜ大切か－。杏林大学医学部付属病院虐待防止委員会講演会，三鷹，平成23年1月14日。
31. 熊井利廣：現代の子育て事情を考える。神奈川県市町村職員研修センター講演会，横浜，平成23年1月27日。
32. 熊井利廣：現代の子育て事情と子ども虐待。三鷹市福祉事務所職員研修会，三鷹，平成23年1月28日。
33. 熊井利廣：児童虐待と関係機関の連携。狛江市

要保護児童対策地域協議会講演会，狛江，平成23年3月1日。

34. 熊井利廣：子どもと家庭と貧困－データから現状をみる－。三鷹市民生委員協議会，三鷹，平成23年3月23日。

論文

1. 辻敬一郎・田島治：抗うつ薬による自殺のリスクの増加。臨床精神薬理 14：249-256，2011。
2. 田島治：うつ病治療再考。心と社会 41:74-82,2010。
3. 田島治：うつ病の薬物療法と抗うつ薬アディクション。精神科治療学 25:629-635,2010。
4. 下島裕美・有馬明恵：大学生の未来展望－5年後，10年後の自分－。杏林大学研究報告教養部門 28：1-9，2011。

著書

1. 田島治：全般的な不安障害。精神科診療データブック，浅井昌弘，中根允文編。東京，中山書店，2010。p.428-431。
2. 辻敬一郎，田島治：社交不安障害治療とSNRI。SNRIのすべて第2版。小山司，樋口輝彦編。東京，先端医学社，2010。p.163-170。
3. 辻敬一郎，田島治：薬物療法の効果と限界。うつ病治療ハンドブック。大野裕編。東京，金剛出版，2011。p.201-211。

健康教育学研究室

口演

1. 松井知子：生活習慣とメンタルヘルス。東京産業保健推進センター研修，東京，平成22年4月12日。
2. 松井知子：新卒・新入社員のメンタルヘルス。東京産業保健推進センター研修，東京，平成22年6月14日。
3. 朝野聡：薬物乱用防止教育とライフスキル。山梨県河口湖畔教育協議会教員研修会，平成22年8月。
4. 松井知子：関係諸機関との連携。江戸川区教育委員会，東京，平成22年8月18日。
5. 松井知子，石井留美¹，庄司亜弓¹，田中理恵¹，塚原三和子¹，他5名（¹東京都SC，ストレス問題研究会）：児童・生徒のメンタルヘルスにおける心理職の予防への関わり第3報 ストレスチェック質問紙のアセスメントツールとしての信頼性妥当性の検討児童・生徒のメンタルヘルスにおける心理職の予防への関わり。第29回日本心理臨床学会秋季大会，仙台，平成22年9月5日。
6. 松井知子：快適職場づくりとメンタルヘルス。東京産業保健推進センター研修，東京，平成22年9月13日。
7. 松井知子，渡会理映子¹，岡本博照¹，大嶺智子，照屋浩司²，角田透¹（¹医・衛生学公衆衛生学，²保・公衆衛生学）：口腔内状況が精神的健康度に及ぼ

- す影響. 第75回日本民族衛生学会総会, 札幌, 平成22年9月25~26日.
8. 岡本博照¹, 照屋浩司², 大嶺智子, 深澤進次¹, 福田潤¹, 岩見文博², 松井知子, 土田幸介¹, 渡会理映子¹, 上村隆元¹, 角田透¹ (¹医・衛生学公衆衛生学, ²保・公衆衛生学): M市における運動相談事業による中高年者の健康への影響について. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27~29日.
 9. 松井知子, 渡部鏝二¹, 川守田千秋², 渡部月子², 武藤三千代³, 若山葉子⁴ (¹神奈川県立保健福祉大・人間総合・基礎専門, ²神奈川県立福祉大・看護, ³日本医科大・スポーツ科学, ⁴日本医科大・衛生公衆衛生): 定期的なラジオ体操励行者の「こころの健康」. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27~29日.
 10. 竹前理映子¹, 上村隆元¹, 能登真一³, 岡本博照¹, 松井知子, 深澤進次¹, 土田幸介¹, 照屋浩司², 角田透¹ (¹医・衛生学公衆衛生学, ²保・公衆衛生学, ³新潟医療福祉大・医療技術・作業療法): HUIを用いた健康効用値の評価第11報. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27~29日.
 11. 武藤三千代¹, 渡部鏝二², 若山葉子³, 松井知子, 渡部弓子⁴, 川守田千秋⁴ (¹日本医大・スポーツ科学, ²神奈川県立保健福祉大・人間総合/基礎専門, ³日本医大・公衆衛生, ⁴神奈川県立保健福祉大・看護): カンボジア・シエムリアップにおける青少年の体格・体力の標準値について. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27~29日.
 12. 朝野聡: 寒冷地ティフトン芝生化事例. 日本芝草学会秋季大会, 富士吉田, 平成22年10月29-30日.
 13. 朝野聡: シンポジウム「スポーツと芝生」. 日本芝草学会秋季大会, 富士吉田, 平成22年10月29-30日.
 14. 朝野聡: 健康生活へのライフスキル, 杏林大学公開講演会/ちょうふ市内・近隣大学等公開講座, 調布, 平成22年11月17日.
 15. 松井知子: 快適職場づくりとメンタルヘルス. 東京産業保健推進センター研修, 東京, 平成22年11月8日.
 16. 大嶺智子, 有田紋子, 佐藤朗子, 朝野聡, 松井知子, 福田潤: 中学生の歯と口腔の健康について. 第57回日本学校保健学会, 坂戸, 平成22年11月27~28日.
 17. 山田浩平, 朝野聡, 大嶺智子, 松井知子: 刺激欲求性とヘルスリスク行動との関わり. 第57回日本学校保健学会, 坂戸, 平成22年11月27~28日.
 18. 松井知子, 岡本博照¹, 照屋浩司², 大櫛重光³, 角田透¹ (¹医・衛生学公衆衛生学, ²保・公衆衛生学, ³上智大): 福祉施設職員のメンタルヘル

ス対策の体制づくりで留意する点. 第18回日本産業ストレス学会, 神戸, 平成23年1月28~29日.

19. 亀崎路子, 宮崎美砂子: 地域ネットワークづくりにおける多機関協働に対する養護教諭の実践の特徴. 文化看護学会第3回学術集会, 千葉, 平成23年3月12日.

論文

1. 箕輪裕子, 成瀬光一, 大倉正臣, 長田由紀子, 大根静香, 亀崎路子, 横井雅代: 福祉教育用ビデオの教育効果に関する研究 — 「親子で学ぼう ユニバーサルデザイン」視聴者の感想文から — 聖徳大学生涯学習研究所紀要 9:37~43, 2011.

その他

1. 松井知子, 市川佳居¹, 坂上頼子¹, 森崎美奈子¹, 他 (¹日本産業精神保健学会臨床心理士研究会): あなたにも出来るストレス解消法. 社団法人全国老荘衛生団体連合会, 東京, 平成22年.
2. 松井知子, 錦戸典子¹, 飯島美世子¹, 森崎美奈子¹, 齊藤照代¹, 松島尚子¹, 角田透 (¹東京産業保健推進センター): 平成22年度産業保健調査研究報告書「産業保健活動を支援するための方策に関する調査研究医療従事者のメンタルヘルスの向上についての研究 -看護職・心理職等を対象とした実態調査と研修マニュアルの提案-」, 平成22年.

救急救命学研究室

口演, ポスター;

学会

1. 岡本博照¹, 細田武伸², 和田貴子 (¹杏林大学医学部衛生学公衆衛生学, ²鳥取大学医学部 社会医学健康政策医学): 大都市部の救急隊員の疲労と職業性ストレス. 第83回日本産業衛生学会総会, 福井, 平成22年5月28日.
2. 和田貴子, 菊川忠臣, 岡本博照¹, 細田武伸² (¹杏林大学医学部衛生学公衆衛生学, ²鳥取大学医学部社会医学健康政策医学): 救急隊員の勤務状況とストレス - 第4報 別の政令指定都市での勤務状況の結果 -. 第13回日本臨床救急医学会総会, 東京, 平成22年6月1日.
3. 菊川忠臣, 岡本博照¹, 細田武伸², 和田貴子 (¹杏林大学医学部衛生学公衆衛生学, ²鳥取大学医学部社会医学健康政策医学): 救急隊員の勤務状況とストレス - 第5報 唾液アミラーゼ活性値の結果 -. 第13回日本臨床救急医学会総会, 東京, 平成22年6月1日.
4. 岡本博照¹, 和田貴子, 菊川忠臣, 細田武伸² (¹杏林大学医学部衛生学公衆衛生学, ²鳥取大学医学部社会医学健康政策医学): 救急隊員の勤務状況とストレス - 第6報 別の政令指定都市でのNIOSH職業性ストレス調査の結果 -. 第13回日本臨床救急医学会総会, 東京, 平成22年6月1日.
5. 岡本博照¹, 和田貴子, 角田透¹ (¹杏林大学医学

部衛生学公衆衛生学)：政令指定都市 S 市の救急隊員の疲労について. 第 17 回日本産業精神保健学会総会, 金沢, 平成 22 年 7 月 17 日.

6. 和田貴子, 岡本博照¹ (¹杏林大学医学部衛生学公衆衛生学)：大都市部の救急隊員の勤務状況と疲労について - 第 2 報 -. 第 38 回日本救急医学会総会, 東京, 平成 22 年 10 月 10 日.
7. 神山麻由子, 岡本博照¹, 菊川忠臣, 和田貴子 (¹杏林大学医学部衛生学公衆衛生学)：消防職員の職業性ストレスに関する研究. 第 39 回杏林医学会, 三鷹, 平成 22 年 11 月 20 日.

講演会

1. 和田貴子：楽しく学ぼう BLS. 八王子学園都市大学いちょう塾, 平成 22 年前期講座, 八王子, 平成 22 年 4 月 13 日, 20 日, 27 日.
2. 和田貴子：最新の救急救命士の教育「消防職における接遇とは？」財団法人日本救急医療財団主催, 平成 21 年度救急救命士業務実地修練・病院前救護体制における指導医等研修, 東京, 平成 22 年 8 月 3 日.
3. 和田貴子：シンポジウム：救急救命のこれから, 救急業務と救急救命士. 医療建築フォーラム 2010, 東京, 平成 22 年 9 月 17 日.
4. 和田貴子：「こころと体の元気プラザ」病院職員のための AED 講習会, 東京, 平成 22 年 9 月 29 日.
5. 和田貴子：子どもを守るいざという時の応急処置, 羽村市生涯学習センターゆとろぎ講座, 東京, 平成 22 年 12 月 3 日.
6. 和田貴子：ワークショップ「救急救命士へのフィードバック及び生涯教育」財団法人日本救急医療財団主催, 平成 22 年度病院前救護体制における指導医等研修, 東京, 平成 23 年 2 月 18 日.
7. 和田貴子：「こころと体の元気プラザ」病院職員のための AED 講習会, 東京, 平成 23 年 2 月 22 日.

論文

1. 岡本博照¹, 和田貴子, 笠置康², 松田剛明³, 山口芳裕³ (¹杏林大学医学部衛生学公衆衛生学, ²松山笠置記念心臓血管病院, ³杏林大学医学部救急医学)：女性医師の人材活用についてのパイロット調査研究：第 2 報 - 勤務条件と社会的支援についての考察 -. 日本臨床救急医学会雑誌. 13(5)：590-595, 2010.

著書

1. 和田貴子：V. 隊員の活動に対するメディカルコントロール、4 事後検証並検証結果のフィードバック. 病院前救護におけるメディカルコントロール. 日本救急医学会メディカルコントロール体制検討委員会編集. 一般社団法人日本救急医学会監修. 東京. へるす出版. 2010. p.85-87.

その他

1. 和田貴子：都市部の救急隊員の勤務状況と疲労とストレスとの関連に関する研究, 財団法人日本救急医療財団平成 21 年度研究助成事業報告書, 2010.

医療安全管理学研究室

口演

1. 川村治子：医療安全マネジメント. 第 20 回 PT OT ST 研修会, 東京, 平成 22 年 10 月 2 日
2. 川村治子：看護実務のシナリオとシーンから展開する医療安全教育. 医学書院看護教員実力養成講座, 東京, 平成 22 年 10 月 30 日
3. 川村治子：看護実務のシナリオとシーンから展開する医療安全教育. 医学書院看護教員実力養成講座, 大阪, 平成 22 年 11 月 6 日
4. 川村治子：医療安全に関する看護教育～看護実務のシナリオとシーンから展開する医療安全教育～(シンポジウム医療安全文化の定着をめざした医学・看護教育). 医療の質・安全第 5 回学術集会, 千葉, 平成 22 年 11 月 27 日
5. 川村治子：医療安全 注射事故防止と転倒転落事故防止. 大分県看護協会講演会, 大分, 平成 22 年 12 月 11 日
6. 川村治子：リスクマネジメント手法インシデントレポートの有効活. 用全国社会福祉施設経営者協議会「初期リスクマネジャー養成研修会」, 東京, 平成 22 年 12 月 13 日
7. 川村治子：医療安全マネジメント. 第 21 回 PT OT ST 研修会, 東京, 平成 22 年 12 月 19 日
8. 川村治子：医療安全教育 — ハウツーからの脱却. 国立保健医療科学院研修会, 和光, 平成 22 年 12 月 20 日
9. 川村治子：転倒転落事故防止の考え方と対策. 平成 22 年度看護職員実務者研修会, 名古屋, 平成 23 年 1 月 12 日
10. 川村治子：医療事故防止のための必須知識. 宮崎県看護協会研修会, 宮崎, 平成 23 年 1 月 21・22 日
11. 川村治子：医療事故防止のために知っておきたい知識～注射・内服事故防止～. 山口県看護協会研修会, 防府, 平成 23 年 2 月 1 日
12. 川村治子：医療事故防止のための必須知識. 長崎県看護協会研修会, 諫早, 平成 23 年 2 月 26・27 日

神経機能制御外科学研究室

口演

1. 小西善史, 佐藤栄志³, 奈良一成¹, 宮崎寛² (¹碑文谷病院, ²久我山病院, ³杏林大学脳神経外科) 頭蓋内頸動脈狭窄を有する脳梗塞の再発抑制. 座談会私たちのプレタールの使い方, 調布, 平成 22 年 1 月 21 日.
2. 梅本朋幸¹, 小西善史, 久保田俊介², 村岡頼憲², 富田禎之², 柴田憲男², 阿波根朝光², 磯部光章³ (葛西循環器脳神経外科病院¹循環器内科, ²脳神経外科, ³東京医科歯科大学 循環器内科). 第 69 回日本脳卒中学会, 岩手, 平成 22 年 4 月 14-16 日.
3. 久保田俊介¹, 阿波根朝光¹, 柴田憲男¹, 富田禎之¹,

- 糸川 博¹, 村岡頼憲¹, 森谷匡雄¹, 小西善史¹ (葛西循環器脳神経外科病院): 脳動脈瘤治療において手術戦略が誤りだったのではと反省した症例の検討. 第69回日本脳卒中学会, 岩手, 平成22年4月14-16日.
4. 梅本朋幸¹, 森谷匡雄², 久保田俊介², 村岡頼憲², 糸川 博², 富田禎之², 柴田憲男², 阿波根朝光², 竹井義純¹, 田村美恵子¹, 大野篤行¹, 渡邊良治¹, 畑 明宏¹, 小西善史³, 和知美幸⁴, 若月雄介⁴, 小川啓太郎⁴, 二茅節美⁴ (葛西循環器脳神経外科病院循環器内科, ²葛西循環器脳神経外科病院脳神経外科, ³杏林大学脳神経外科, ⁴葛西循環器脳神経外科病院生理検査科): 鎖骨下動脈ステント留置術中に椎骨動脈の血流逆転を観察しえた症例 (遠位塞栓予防の必要性について). 第9会日本頸部脳血管治療学会, 横浜, 平成22年4月23-24日
 5. 小西 善史: 脳動脈瘤におけるコイル瘤内塞栓術 — 実験的な最近のコイルの特徴 — 第16回日本血管内治療学会総会, 名古屋, 平成22年7月23日
 6. 小西善史, 深作和明¹, 奈良一成¹, 大野晋吾¹, 佐藤栄志², 塩川芳昭² (碑文谷病院脳神経外科, ²杏林大学脳神経外科): 脳動脈瘤の血管内手術: コイル形状と最適な挿入速度. 第69回日本脳神経外科学会総会, 福岡, 平成22年10月27-29日
 7. 小西善史, 深作和明¹, 大野晋吾¹, 佐藤栄志² (碑文谷病院, ²杏林大学脳神経外科): 動脈瘤塞栓術におけるコイル形状と最適挿入速度の検討. 第26回日本脳神経血管内治療学会, 福岡, 平成22年11月18日~20日
 8. 竹内昌孝¹, 小西善史, 深作和明², 富永二郎¹, 馬場胤文¹, 吉山道貫¹, 新井紀夫³, 松前光紀¹ (東海大学付属病院脳神経外科¹, 理化学研究所², 東京農工大学工学部³): 瘤を有する円管内の流れ: ステントの効果 第26回日本脳神経血管内治療学会, 福岡, 平成22年11月18日~20日
 9. 佐藤栄志¹, 小西善史, 塩川芳昭¹, 島田篤², 小松原弘一郎³, 水谷 徹⁴ (杏林大学脳神経外科, ²白河病院 脳神経外科, ³埼玉県立循環器・呼吸器病センター 脳神経外科, ⁴府中病院 脳神経外科): 症候性脳底動脈狭窄症に対する血管内治療の有効性と問題点, 第35回日本脳卒中学会, 岩手, 平成22年4月14-16日.
 10. 佐藤栄志¹, 小西善史, 脊山英徳¹, 栗田浩樹¹, 塩川芳昭¹ (杏林大学脳神経外科): 破裂解離性椎骨動脈瘤に対する脳血管内治療: 治療成績・問題点に関する検討, 第35回日本脳卒中学会, 岩手, 平成22年4月14-16日.
 11. 大野晋吾¹, 深作和明¹, 永山和樹¹, 奈良一成¹, 小西善史 (碑文谷病院): 治療に難渋した破裂中大脳動脈瘤. 第7回日本脳神経血管内治療学会関東地方会, 東京, 平成22年6月5日.
 12. 大野晋吾¹, 深作和明¹, 永山和樹¹, 奈良一成¹, 小西善史 (碑文谷病院): 治療方法選択に苦慮した外傷性CCFの1例. 第7回日本脳神経血管内治療学会関東地方会, 東京, 平成22年6月5日.
 13. 大野晋吾¹, 深作和明¹, 永山和樹¹, 奈良一成¹, 小西善史 (碑文谷病院): コイル塞栓術を断念した脳動脈瘤. 第22回東京脳血管内治療研究会, 東京, 平成22年7月3日.
 14. 小松原弘一郎¹, 脊山英徳¹, 佐藤栄志¹, 小西善史 (杏林大学脳神経外科): 頭蓋内内頸動脈狭窄にPTAが著効した一例. 第44回三鷹ニューロ研究会, 三鷹, 平成22年7月8日.
 15. 佐藤栄志¹, 島田篤², 小西善史, 小松原弘一郎¹, 脊山英徳¹, 塩川芳昭¹ (杏林大学脳神経外科, ²白河病院脳神経外科): 末梢性"脳動脈瘤"に対する脳血管内治療 Intravascular treatment for "peripheral" cerebral aneurysms.. 第16回日本血管内治療学会総会, 名古屋, 平成22年7月23日~24日.
 16. 佐藤栄志¹, 島田篤², 小西善史, 小松原弘一郎¹, 脊山英徳¹, 塩川芳昭¹ (杏林大学脳神経外科, ²白河病院 脳神経外科): 破裂解離性椎骨動脈瘤に対する脳血管内治療 — 治療成績・問題点に関する検討. 第69回日本脳神経外科学会, 福岡, 平成22年10月27-29日.
 17. 佐藤栄志¹, 島田篤², 小西善史, 小松原弘一郎¹, 脊山英徳¹, 塩川芳昭¹ (杏林大学脳神経外科, ²白河病院 脳神経外科): "末梢性"脳動脈瘤に対する脳血管内治療. 第26回日本脳神経血管内治療学会, 平成22年11月18-20日.
 18. 深作和明^{1,3}, 根来真², 小西善史, 大野信吾³, 永山和樹³, 奈良一成³, 塩川芳昭 (理化学研究所 生体力学シミュレーション, ²藤田保健衛生大学 脳神経外科, ³碑文谷病院 脳神経外科): コイル離脱部の構造の検討. 第26回日本脳神経血管内治療学会, 福岡, 平成22年11月18日~20日
 19. 深作和明^{1,4}, 根来真², 小西善史³, 野田茂穂¹, 横田秀夫¹, 奈良一成³, 塩川芳昭⁴ (理化学研究所 生体力学シミュレーション, ²藤田保健衛生大学 脳神経外科, ³碑文谷病院 脳神経外科, ⁴杏林大学脳神経外科): 塞栓率の変化に伴う動脈瘤ならびに周囲の流れパターンの変化. 第26回日本脳神経血管内治療学会, 福岡, 平成22年11月18日~20日
 20. 大野晋吾¹, 永山和樹¹, 深作和明¹, 奈良一成¹, 小西善史 (碑文谷病院脳神経外科): 脳底動脈急性閉塞に対する脳局所血栓溶解療法, 第35回日本脳卒中学会, 岩手, 平成22年4月14-16日.
 21. 島田篤¹, 池田俊貴¹, 佐藤栄志², 小西善史 (白河病院, ²杏林大学脳神経外科): AngioGuard の展開に難渋したCASの1例. 第22回東京脳血管内治療研究会, 東京, 平成22年7月3日.
 22. 島田篤¹, 丸山啓介², 池田俊貴¹, 佐藤栄志², 小西善史, 塩川芳昭² (白河病院, ²杏林大学脳神経外科): 急性期塞栓性内頸動脈閉塞症に対する局所線溶療法—転帰に関与する因子は? 自験例からの検討—. 第26回日本脳神経血管内治療学会, 福岡, 平成22年11月18日~20日
 23. 島田篤¹, 池田俊貴¹, 佐藤栄志², 小西善史 (

白河病院 脳神経外科, ²杏林大学脳神経外科) AngioGuardの展開に難渋したCASの1例 第26回日本脳神経血管内治療学会, 小倉, 平成22年11月19日

24. 脊山英徳¹, 栗田浩樹¹, 西山和利², 高橋秀寿¹, 佐藤栄志¹, 小西善史, 塩川芳昭¹ (¹杏林大学脳神経外科, ²杏林大学脳卒中センター): 心原性塞栓による内頸動脈急性閉塞症の44例. 第69回日本脳卒中学会, 岩手, 平成22年4月14-16日.
25. 脊山英徳¹, 栗田浩樹¹, 西山和利², 高橋秀寿¹, 佐藤栄志¹, 小西善史, 塩川芳昭¹ (¹杏林大学脳神経外科, ²杏林大学脳卒中センター): 第69回日本脳卒中学会, 岩手, 平成22年4月14-16日.
26. 脊山英徳¹, 西山和利², 高橋秀寿², 栗田浩樹¹, 佐藤栄志¹, 小西善史, 塩川芳昭¹ (¹杏林大学脳神経外科, ²杏林大学脳卒中センター): プレナリーセッション CEAの現状と展望 同一術者による頸動脈狭窄症治療, 連続96例の経験より. 第9回日本頸部脳血管治療学会, 横浜, 平成22年4月23-24日.
27. 脊山英徳¹, 小林洋和², 西山和利², 高橋秀寿², 佐藤栄志¹, 栗田浩樹³, 小西善史, 塩川芳昭¹ (¹杏林大学脳神経外科, ¹杏林大学脳卒中センター, ³埼玉医科大学 脳卒中外科): 杏林大学病院脳卒中センターにおける頸動脈狭窄症治療, 連続115例の経験より. 第69回日本脳神経外科学会, 福岡, 平成22年10月27-29日.
28. 山口竜一¹, 脊山英徳¹, 丸山啓介¹, 野口明男¹, 佐藤栄志¹, 小西善史, 塩川芳昭¹ (¹杏林大学脳神経外科): 杏林大学脳神経外科における開頭による未破裂脳動脈瘤治療の現状と課題. 第69回日本脳神経外科学会, 福岡, 平成22年10月27-29日.
29. 脊山英徳¹, 佐藤栄志¹, 栗田浩樹², 小西善史, 塩川芳昭¹ (¹杏林大学脳神経外科, ²埼玉医科大学 脳卒中外科): High flow bypass術の術者に至る段階的手術トレーニング第69回日本脳神経外科学会, 福岡, 平成22年10月28日.
30. 脊山英徳¹, 野口明男¹, 佐藤栄志¹, 小西善史, 塩川芳昭¹ (¹杏林大学脳神経外科): 杏林大学における治療困難な脳動脈瘤に対する複合的治療. 第40回脳卒中の外科学会, 東京, 平成23年3月24-26日.
31. 脊山英徳¹, 小林洋和¹, 西山和利¹, 高橋秀寿¹, 佐藤栄志¹, 小西善史, 塩川芳昭¹ (¹杏林大学脳神経外科): 杏林大学病院脳卒中センターにおける内頸動脈内膜剥離術73例の治療成績. 第40回脳卒中の外科学会, 東京, 平成23年3月24-26日.
32. 山口竜一¹, 野口明男¹, 脊山英徳¹, 丸山啓介¹, 佐藤栄志¹, 小西善史, 塩川芳昭¹ (¹杏林大学脳神経外科): 杏林大学脳神経外科における開頭による未破裂脳動脈瘤治療の現状と課題. 第40回脳卒中の外科学会, 東京, 平成23年3月24-26日.

論文

1. 竹内昌孝¹, 石黒朋子², 阿波根朝光², 小西善史, 松前光紀¹ (¹東海大学脳神経外科, ²葛西循環器脳神経外科病院脳神経外科): 特発性内頸動脈解離の

1例: 症例報告 .JNET4 : 27-32,2010

2. Y Iizuka¹, E Kohda¹, Y Tsutsumi², H Masaki², S Nosaka², N Morota³, S Kobayashi⁴, Y Konishi¹(¹Department of Radiology,Stroke Center Toho University Ohashi Medical Center, ²Department of Radiology,National Center for Child Health and Development, ³Department of Neurosurgery,National Center for Child Health and Developmen, ⁴Department of Neurosurgery, Chiba Emergency Medical Center):Pediatric high-flow, cervical spinal, macro-arteriovenous fistula, treated with the endovascular cotton candy glue injection technique. Childs Nerv Syst.2010
3. 佐藤栄志, 小西善史, 島田篤¹, 藤塚光幸², 塩川芳昭 (¹白河病院, ²稲城市立病院): 後大脳動脈遠位部動脈瘤に対する脳血管内治療. 脳神経外科速報 21(1): 90-97, 2011

その他

1. 小西善史, 佐藤栄志¹, 奈良一成², 宮崎寛³ (¹杏林大学脳神経外科, ²碑文谷病院, ³久我山病院) 頭蓋内頸動脈狭窄を有する脳梗塞の再発抑制. 座談会私たちのプレタールの使い方. 大塚製薬株式会社, 2010年

成人・

高齢者看護学研究室

口演

1. 亀田真美, 井上智子, 田原真由美, 原田敦子, 秋山秀樹, 坂巻壽: 造血幹細胞移植患者の無菌室入室に伴う筋力の実態と闘病意欲を支える運動プログラム開発に関する研究. 第33回日本造血細胞移植学会学術集会. 松山. 平成23年3月9日
2. 坂本志保, 亀田真美: 治療抵抗性となった血液疾患患者と関わる看護師の思い—つらい思いとその対処について—. 第25回日本がん看護学会学術集会. 神戸. 平成23年2月13日
3. 篠原かおり, 庄村雅子, 亀田真美: 多様な治療を受けている造血器がん患者の体験と看護支援. 第25回日本がん看護学会学術集会. 神戸. 平成23年2月12日
4. 富樫恵美子, 量倫子, 西田朋子, 福田美和子: スタッフのニーズからみた臨床看護研究における師長のサポート機能に関する研究, 日本看護管理学会, 横浜, 平成22年8月20日
5. 大平奈津美, 小泉美佐子: 訪問看護を利用する在宅要介護高齢者の排尿障害タイプと排尿管理. 日本老年看護学会第15回学術集会, 群馬, 平成22年11月7日.
6. 大辻恵, 中島恵美子: 広範囲熱傷患者に対する社会復帰の促進に向けた看護支援に関する研究. 第6回日本クリティカルケア看護学会学術集会. 札幌. 平成22年7月17日

論文

1. 亀田真美, 井上智子: 造血幹細胞移植患者の入院中

の闘病意欲の変化とその関連要因の構造化. 日本移植・再生医療看護学会誌 5(2) : 3-16, 2010.

2. 大平奈津美, 伊藤まゆみ: 老年看護学領域における基礎看護技術教育の現状と課題 — 技術到達度表の分析から —. 群馬パース大学紀要 10 : 67-74, 2010.
3. 兎澤恵子, 大平奈津美, 伊藤まゆみ: グループホームにおけるグループ回想法が認知症高齢者の唾液コルチゾールに及ぼす影響. 群馬パース大学紀要 10 : 17-26, 2010.
4. 関根由紀: 慢性心不全の危険性と看護のポイント. 臨床老年看護 17 (5) : 2-12, 2010.
5. 関根由紀, 小松浩子: 人工呼吸器離脱過程における心不全患者の取り組みの構造化. 日本クリティカルケア看護学会誌 6 (1) : 16-25, 2010.
6. 兎澤恵子: グループホームにおけるグループ回想法が認知症高齢者の唾液コルチゾールに及ぼす影響. 群馬パース大学紀要 .10: 17-26.2010.
7. 兎澤恵子: グループホームにおけるグループ回想法が認知症高齢者の唾液コルチゾールに及ぼす影響. 群馬パース大学紀要 .10: 17-26.2010.

著書

1. 中島恵美子: 気胸, 人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ [1]. 佐藤千史、井上智子編集, 東京, 医学書院, 2010, p1-7
2. 福田祐子: 脂質代謝異常, 人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ 3. 佐藤千史、井上智子編集, 東京, 医学書院, 2011, p19
3. 福田祐子: 第2編 第1章 看護の基本, 第4章 消化器疾患を持つ患者の看護, 新体系看護学全書 18 成人看護学⑤消化器, 井廻道夫、菅原スミ編集, 東京, メヂカルフレンド社, 2010, p325-355, p499-520
4. 福田祐子: 第6章 看護職と生涯学習, ナーシンググラフィカ②③基礎看護学 - 看護管理, 村島さい子, 加藤和子, 瀬戸口要子編集, 大阪, メディカ出版, 2010, p140-153

その他

1. 大平奈津美: 日本老年看護学会第15回学術集会実行委員 平成22年11月6, 7日, 群馬
2. 中島恵美子, 加賀谷聡子, 関根由紀: 第12回日本救急看護学会実行委員 平成22年10月29日, 30日, 東京

母子看護学・ 助産学研究室

口演

1. 佐藤喜美子: 多胎児の妊娠・出産・育児の基礎知識, 社会福祉振興助成事業NPO保育サービスひまわりママ主催 多胎児ママのハッピーライフピアサポーター・コーディネーター養成講座, 武蔵野市, 平成22年6月26日.
2. 吉野純: 発熱を主訴に小児科外来を受診する子ども

の母親が抱える不安. 第57回日本小児保健学会, 新潟, 平成22年9月16-18日.

3. 佐々木裕子: 武蔵野市NPO補助金事業「Baby Touch!!」赤ちゃんと遊ぼう. NPO法人保育サービスひまわりママこどもテミオンハウスあおば, 平成22年9月20日.
4. 土屋有利子, 佐々木裕子: いのちのおはなし 思春期を迎える子どもたちに伝えたいこと 三鷹市教育委員会・連雀学園三鷹市立南浦小学校 一日家庭教育学級 三鷹, 平成22年10月21日.
5. 石川福江: 小児がん看護に携わる看護師の家族への関わりと支援の現状 — 家族支援教育プログラムの検討に向けて (1) —, 日本小児がん看護学会第8回学術集会, 大阪, 平成22年12月18-19日.
6. 石川福江: 小児がん看護に携わる看護師の家族支援における困難性と学習ニーズ — 家族支援教育プログラムの検討に向けて (2) —, 日本小児がん看護学会第8回学術集会, 大阪, 平成22年12月18-19日.
7. 岸田泰子, 久保恭子¹, 田村毅², 及川裕子³ (¹埼玉医科大学・保健医療学部, ²東京学芸大学・教育学部, ³近大姫路大学・看護学部): 妊娠期から育児期における夫婦の生活満足感に影響する要因. 第51回日本母性衛生学会, 金沢, 平成22年11月5-6日.
8. 岸田泰子: 更年期障害とうまくつきあう法, 調布市立中学校講演会, 調布市, 平成23年1月13日.
9. 太田ひろみ¹, 佐々木裕子, 佐藤喜美子, 山元有佳, 佐藤もも子², 松浦弘美², 近藤由理香², 増永啓子² (¹杏林大・保・地域看護, ²杏林大・医・付属病院): 多胎育児準備クラス開催の試み (第1報). 日本双生児研究学会第25回学術講演会, 東京, 平成23年1月29日.
10. 佐々木裕子, 太田ひろみ¹, 佐藤喜美子, 山元有佳, 佐藤もも子², 松浦弘美², 近藤由理香², 増永啓子² (¹杏林大・保・地域看護, ²杏林大・医・付属病院): 多胎育児準備クラス開催の試みと今後の課題 (第2報). 日本双生児研究学会第25回学術講演会, 東京, 平成23年1月29日.

論文

1. 岸田泰子, 田村毅¹ (¹東京学芸大学・教育学部): デルファイ調査による思春期の健康問題とその支援に関する研究 — 養護教諭への質問紙調査を実施して —. 小児保健研究 69: 764-772, 2010.

著書

1. 佐藤喜美子: 助産師資格試験研究会編集・発行 助産師国家試験予測問題 2011 クオリティケア, 2010.
2. 佐々木裕子: 働く女性/女性と環境. ウィメンズヘルスナーシング. 女性のライフサイクルとナーシング. 女性の生涯発達と看護. ライフサイクルと女性の心理. 村本淳子, 高橋真理編. 東京, ヌーベルヒロカワ, 2011. p81-85 / p85-95.
3. 中村明子: プレパレーション/子どもにとっての身体計測/子どもにとっての検体採取. オールカラーやさしくわかる小児看護技術. 草柳浩子・岩瀬貴美

子編集. 東京, ナツメ社, 2011. p 62-64 / p 65-78 / p 89-104.

その他

1. 土屋有利子: FGM廃絶の支援 活動報告 2010年アフリカンフェスタ, 横浜, 2010年6月13日.
2. 土屋有利子: FGMと女性の健康 2010年グローバルフェスタ, MDGs 5 ワークショップ, 東京 2010年10月3日.
3. 伊藤充子¹, 及位満枝¹, 土屋有利子, 村山千津子¹, ヤンソン柳澤由実子¹, ニナ ラージ¹ (FGM廃絶を支援する女たちの会) 訳 女性性器切除の廃絶を求める国連 10 機関共同声明, WHO 発行, 2010年.

地域看護学研究室

口 演

1. 大木幸子: 生活の場に出向く支援～訪問機能を中心に～. 東京都立精神保健福祉センター行政職員地域援助研修・中級, 東京, 平成22年7月15日.
2. 大木幸子: 陽性告知後に何が起きているか～保健所等の HIV 陽性者支援に関する調査結果～ シンポジウム「陽性告知後に何が起きているか」. 東京, 平成22年4月29日.
3. 大木幸子: インテーク面接での支援技術. 新宿区牛込保健センター精神保健事例検討会, 東京, 平成22年8月31日.
4. 大木幸子: 保健師に求められる能力と現任教育. 平成22年度青森県初任期保健師研修第1回, 青森, 平成22年9月21日.
5. 小田みどり^{1,4}, 田邊郁恵^{2,4}, 篠場沙希⁴, 加藤英世⁴, 石野晶子⁴, 万年宏美⁴, 大久保良彦⁴, 太田ひろみ, 加藤昌代, 照屋浩司⁵, 岩見文博⁵ (1 横浜市立本宿小学校, 2 都立青井高等学校, 3 府中市立みどり幼稚園, 4 杏林大学保健学部母子保健学, 5 杏林大学保健学部公衆衛生学): 幼児の重心動揺量の経年変化とその関連要因. 第57回日本小児保健学会, 新潟, 平成22年9月16-18日.
6. 大木幸子: 特定健康診査・特定保健指導等受診率向上のための取り組みについて. 第1回茨城県特定健康診査・特定保健指導実施計画評価支援研修, 水戸, 平成22年10月12日.
7. 大木幸子: 相談支援の基本的なアセスメント視点と技術. 平成22年度三鷹市生活福祉課ケースワーカー研修, 三鷹, 平成22年11月10日.
8. 生島嗣, 大木幸子, 若林チヒロ (1 ぶれいす東京, 2 埼玉県立大学): HIV 陽性者の地域支援研究 (1) — 東京都内の行政窓口における相談対応に関する調査. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 第69回日本公衆衛生学会, 平成22年10月27日.
9. 大木幸子, 生島嗣¹, 稲葉洋子², 井上洋士³, 加藤昌代, 狩野千草⁴, 工藤恵子⁵, 小松実弥⁶, 高藤光子⁷, 高橋由美子⁸, 森田桂, 山田悦子⁹ (1 ぶれいす東京, 2 東京都健康安全部, 3 放送大学, 4 新宿区牛込保健センタ

- 1, 5 武蔵野大学, 6 杏林大学国際協力研究科, 7 新宿区福祉部, 8 東京都多摩立川保健所, 9 八王子市保健所): HIV 陽性者の地域支援研究 (2) 全国の保健所における検査時の相談対応に関する調査. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27日.
10. 若林チヒロ, 大木幸子, 生島嗣 (1 埼玉県立大学, 2 ぶれいす東京): HIV 陽性者の地域支援研究 (3) — 全国の陽性者における地域生活と政策評価に関する調査. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27日.
11. 櫻井尚子¹, 大木幸子, 太田ひろみ, 森田桂, 加藤昌代, 小林浩子², 竹内和代³, 土屋厚子⁴, 長田和美⁵, 藤井広美⁶, 水嶋春朔⁷, (1 東京慈恵医科大学, 2 仙台市健康福祉局, 3 所沢市保健福祉部, 4 静岡県厚生部医療健康局, 5 矢崎健康保険組合, 6 社団法人日本看護協会, 7 横浜市立大学,): 特定健診等の受診率・保健指導等の利用率向上のための効果的取り組み. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27日.
12. 山口佳子, 塚原洋子, 加藤昌代, 太田ひろみ, 森田桂, 大木幸子: 現任教育として同窓保健師交流会を開催する方法. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27-29日.
13. 春山早苗¹, 山口佳子, 櫻山豊夫², 倉橋俊至³, 筒井智恵美⁴, 堀裕美子⁵, 北島信子⁶, 有馬和代⁷, 川人礼子⁷, 塚本友栄¹, 島田裕子¹ (1 自治医科大学看護学部, 2 東京都福祉保健局, 3 足立区衛生部足立保健所, 4 東京都南多摩保健所, 5 荒川区保健所, 6 大阪府八尾保健所, 7 4 大阪市保健所): 大都市部における感染症集団発生時の保健活動. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月27-29日.
14. 太田ひろみ, 照屋浩司¹, 岩見文博¹, 片桐朝美², 加藤英世³ (杏林大・保・1 公衆衛生学教室・2 心理学・社会福祉学 研究室・3 母子保健学教室): 個人レベルのソーシャル・キャピタルと高齢者の日常生活満足度との関連. 第69回日本公衆衛生学会, 東京, 平成22年10月27日-29日.
15. 照屋浩司¹, 岩見文博¹, 片桐朝美², 太田ひろみ, 石野晶子³, 大嶺智子⁴, 加藤英世³ (杏林大・保・1 公衆衛生学教室, 2 心理学・社会福祉学 研究室, 3 母子保健学教室, 4 健康教育学教室): 幼児における音響的骨評価値の経年的変化と成長との関連について. 第69回日本公衆衛生学会, 東京, 平成22年10月27日-29日.
16. 新倉康治¹, 徳村真樹², 菊地沙代³, 中原聡子⁴, 大木幸子 (1 八王子市保健所, 2 株式会社ドクター・トラスト, 3 済生会横浜市東部病院, 4 元杏林大学): 統合失調症患者への母親の態度に対する家族会参加のもたらす影響. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成22年10月29日.
17. 大木幸子, 生島嗣¹, 稲葉洋子², 井上洋士³, 加藤昌代, 狩野千草⁴, 工藤恵子⁵, 小松実弥⁶, 高藤光子⁷, 高橋由美子⁸, 森田桂, 山田悦子⁹ (1 ぶれいす東京, 2 東京都健康安全部, 3 放送大学, 4 新宿区

牛込保健センター,⁵ 武蔵野大学,⁶ 杏林大学国際協力研究科,⁷ 新宿区福祉部,⁸ 東京都多摩立川保健所,⁹ 八王子市保健所) : 全国の保健所等における HIV 陽性者支援の経験に関する調査. 第 23 回日本エイズ学会学術集会, 東京, 平成 22 年 11 月 24 日.

18. 大木幸子, 生島嗣¹, 稲葉洋子², 井上洋士³, 加藤昌代, 狩野千草⁴, 工藤恵子⁵, 小松実弥⁶, 高藤光子⁷, 高橋由美子⁸, 森田桂, 山田悦子⁹ (¹ ぷれいす東京, ² 東京都健康安全部, ³ 放送大学, ⁴ 新宿区牛込保健センター, ⁵ 武蔵野大学, ⁶ 杏林大学国際協力研究科, ⁷ 新宿区福祉部, ⁸ 東京都多摩立川保健所, ⁹ 八王子市保健所) : 全国の保健所等における HIV 陽性者支援に関する関連要因. 第 23 回日本エイズ学会学術集会, 東京, 平成 22 年 11 月 24 日.
19. 太田ひろみ, 照屋浩司¹, 加藤英世², 朝野聡³ (杏林大・保・¹ 公衆衛生学教室・² 母子保健学教室・³ 健康教育学教室) : 保健医療系学生の喫煙行動 - 2000 年調査との比較-. 第 57 回日本学校保健学会, 埼玉, 平成 22 年 11 月 27 日 - 28 日.
20. 田辺郁恵¹, 小田美土里², 篠場沙希³, 加藤英世⁴, 石野晶子⁴, 大久保良彦⁴, 照屋浩司⁵, 岩見文博⁵, 太田ひろみ⁶ (¹ 都立青井高等学校・² 横浜市立本宿小学校・³ 府中市みどり幼稚園・⁴ 杏林大・保・母子保健学教室・⁵ 杏林大・保・公衆衛生学教室・⁶ 杏林大・保・地域看護学教室) : 幼児の足底円蓋形成の実態と重臣動揺量との関連性. 第 57 回日本学校保健学会, 埼玉, 平成 22 年 11 月 27 日 - 28 日.
21. 大木幸子 : 保健師に求められる能力と現任教育. 平成 22 年度青森県初任期保健師研修第 2 回, 青森, 平成 23 年 1 月 12 日.
22. 大木幸子 : HIV 陽性者支援における保健師の役割. 平成 22 年度ケア合同 (応用編) 研修会, 東京, 平成 23 年 1 月 21 日.
23. 太田ひろみ, 佐々木裕子¹, 佐藤喜美子¹, 山元有佳¹, 佐藤もも子², 松浦 弘実², 近藤由理香², 増永啓子² (¹ 杏林大・保・母子看護学教室, ² 杏林大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター : 多胎育児準備クラス開催の試み (第 1 報). 第 25 回日本双生児研究学会・学術講演会, 東京, 平成 23 年 1 月 29 日.
24. 佐々木裕子¹, 太田ひろみ, 佐藤喜美子¹, 山元有佳¹, 佐藤もも子², 松浦弘実², 近藤由理香², 増永啓子² (¹ 杏林大・保・母子看護学教室, ² 杏林大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター) : 多胎育児準備クラス開催の試み (第 2 報). 第 25 回日本双生児研究学会・学術講演会, 東京, 平成 23 年 1 月 29 日.
25. 山口佳子 : 保健師活動における記録の重要性と留意点～管理職を中心に～. 保健師記録に関する研修会, 熊谷, 平成 23 年 1 月 31 日.
26. 山口佳子 : 保健師活動における記録の重要性と留意点～一般職員を中心に～. 保健師記録に関する研修会, 深谷, 平成 23 年 2 月 28 日.
27. 大木幸子 : 健康危機管理における保健師の活動. 平

成 22 年度八王子市保健師業務連絡会, 八王子, 平成 23 年 3 月 23 日.

論文

1. 大木幸子 : コミュニティ・エンパワメントのための支援技術 4 『『時』をつかみ, 『人』をつなぐプランニング』. 保健師ジャーナル 66(4): 376-380,2010.
2. 大木幸子 : コミュニティ・エンパワメントのための支援技術 5 「対話のしかけづくり」と「協働をめざした対話を生成する支援技術」. 保健師ジャーナル 66(5):474-479,2010.
3. 大木幸子 : コミュニティ・エンパワメントのための支援技術 6 「住民とのパートナーシップの形成」. 保健師ジャーナル 66(6): 570-575,2010.
4. 大木幸子 : コミュニティ・エンパワメントのための支援技術 7 「コミュニティ・エンパワメントへの支援過程に共通する視点」. 保健師ジャーナル 66(7):660-664,2010.
5. 山口佳子・塚原洋子・加藤昌代・太田ひろみ・森田桂・大木幸子 : 杏林大学同窓保健師交流会のあゆみー現任教育として同窓保健師交流会を開催するための工夫ー, 杏林大学研究報告教養部門 28:47-57,2011.
6. 山口佳子・鈴木郁子¹・伊藤優子²・寺西秀美³・渡辺郁子⁴ (¹ 千葉県木更津市, ² 神奈川県葉山町, ³ 東京都新宿区, ⁴ 新潟県聖籠町) : 家庭訪問の再興を目指して 保健師最強のツールをいかに維持, 復活させるか, 地域保健 42(1):16-65,2011.

著書

1. 大木幸子 : 第 9 章精神保健福祉活動 公衆衛生看護活動論技術演習. 岩本里織, 北村真弓, 標美奈子編. 東京, クオリティケア. 2010. p188-207.
2. 山口佳子 : 個別事例から展開する地域診断演習. 岩本里織・北村真弓・標美奈子編. 公衆衛生看護活動論 技術演習, 東京, クオリティケア, 2010. p.71-84.
3. 大木幸子 : 「つくる・育てる」テクニック 地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方. 星旦二, 栗盛須雅子, 東京, 医学書院, 2010.p.15-37.
4. 大木幸子 : 子育てグループ. 地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方. 星旦二, 栗盛須雅, .東京, 医学書院. 2010.p.41-55.
5. 大木幸子 : セルフヘルプ・グループ 患者・障害者およびその家族による自助グループ. 地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方. 星旦二, 栗盛須雅子. 東京, 医学書院. 2010. p.99-114.

その他

1. 大木幸子, 生島嗣¹, 稲葉洋子², 井上洋士³, 加藤昌代, 狩野千草⁴, 工藤恵子⁵, 小松実弥⁶, 高藤光子⁷, 高橋由美子⁸, 森田桂, 山田悦子⁹ (¹ ぷれいす東京, ² 東京都健康安全部, ³ 放送大学, ⁴ 新宿区牛込保健センター, ⁵ 武蔵野大学, ⁶ 杏林大学国際協力研究科, ⁷ 新宿区福祉部, ⁸ 東京都多摩立川保健所, ⁹ 八王子市保健所) : 厚生労働科学研究費補

助金エイズ対策研究事業「保健所における HIV 陽性者への相談・支援機能に関する研究」,「地域における HIV 陽性者等支援のための研究」平成 22 年度総括・分担研究報告書. 2011 年 3 月.

2. 平野かよ子¹, 山口佳子, 荒木田美香子², 尾崎米厚³, 井伊久美子⁴, 中板育美⁵ (1 東北大学大学院医学系研究科, 2 国際保健福祉大学, 3 鳥取大学医学部, 4 日本看護協会, 5 国立保健医療科学院): 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業 (政策科学推進研究事業)「保健活動の質の評価指標開発」総括・分担研究報告書, 2011 年 3 月
3. 平野かよ子¹, 山口佳子, 俵麻紀², 末永カツ子¹, 中板育美³, 奥山則子⁴, 斎藤真理子⁵, 大熊八重⁶, 成木弘子³, 倉下美和子⁷, 塚原洋子⁸ (1 東北大学大学院医学系研究科, 2 国立看護大学校, 3 国立保健医療科学院, 4 東京慈恵会医科大学, 5 栃木県鹿沼市, 6 埼玉県健康福祉部, 7 東京都多摩府中保健所, 8 pp 会主宰): 平成 22 年度地域保健総合推進事業「保健師の活動方法の明確化と視聴覚機材による継承方法の開発」DVD 教材 (第 1~7 話), 2011 年 3 月.

精神看護学研究室

口 演

1. 浅沼奈美: 有意義な事例検討会とは. 東京都多摩地域市町村精神保健福祉従事者業務連絡会, 東京都多摩総合精神保健福祉センター, 東京, 平成 22 年 7 月 22 日

論 文

1. 浅沼奈美, 大瀧純一: 看護学生の抑うつ状態と性格との関連 平成 16 年から 6 年間の経年比較~第 1 報 平成 16 年度の調査結果から~. 杏林大学研究報告教養部門. 第 28 巻. 2011.
2. 大澤亜貴子, 松岡晴香¹ (¹多摩あおば病院), 浅沼奈美: 精神看護学実習における学生の学びと精神看護分野への職業選択との関連. 杏林大学研究報告教養部門. 第 28 巻. 2011.

医療科学Ⅱ研究室

口 演

1. 小林治: "新型"インフルエンザ対策の実際; 中核病院と地域医療との連携. 第 50 回日本呼吸器学会総会 ICD 講演会, 京都, 平成 22 年 4 月 25 日
2. 小林治: 感染症治療の円滑な介入; 感染症科の立場から. 第 58 回日本化学療法学会総会シンポジウム 12, 長崎, 平成 22 年 6 月 4 日
3. 小林治: 高齢者肺炎のマネージメント. 第 58 回日本化学療法学会総会 ICD 講習会, 長崎, 平成 22 年 6 月 4 日
4. 小林治: 高齢者肺炎のマネージメント. 第 13 回日本高齢消化器学会ランチョンセミナー, 東京,

平成 22 年 7 月 9 日

5. 小林治: 外来診療における抗菌療法のコツと落とし穴. 城南呼吸器カンファレンス, 東京, 平成 22 年 9 月 15 日
6. 小林治: 新規抗インフルエンザ薬 favipiravir(T-705)の開発を巡って. 第 14 回長崎化学療法研究会学術集会, 長崎, 2010 年 10 月 1 日
7. 小林治: 抗インフルエンザ薬の適正使用. 第 34 回京都呼吸器セミナー, 京都, 平成 22 年 10 月 2 日
8. 小林治: インフルエンザと呼吸障害. 日本医師会生涯教育協力セミナー, 埼玉, 平成 22 年 10 月 16 日
9. 西圭史, 山内弘子, 中村喜美子, 牧野博, 荒木光二, 高橋陽子, 岡崎充宏, 佐野彰彦, 小林治, 河合伸: カテーテル関連血流感染症の適正なアプローチのために. 第 59 回日本感染症学会・第 57 回日本化学療法学会東日本合同学会, 東京, 平成 22 年 10 月 21 日
10. 小林治: インフルエンザの動向と対策. 三鷹市インフルエンザ対策講演会, 東京, 平成 22 年 11 月 9 日
11. 小林治: 抗インフルエンザ薬の適正使用. 東村山医師会講演会, 東京, 平成 22 年 11 月 11 日
12. 小林治: 感染症 歯科学と内科学との接点を目指して. 第 26 回アレキサンダー研究会例会, 東京, 平成 22 年 12 月 1 日
13. 小林治: 抗インフルエンザ薬の適正使用. 社団法人東京都病院薬剤師会臨床薬学研究会, 東京, 平成 22 年 12 月 2 日

論 文

1. 小林治: 内科領域におけるバイオフィルム感染症. 化学療法の領域 26: 1823-30,2010.
2. 小林治: 麻疹に伴う呼吸障害. 日本胸部臨床 69:791-801,2010
3. 小林治: 麻疹肺傷害の発生とその制御. 日本医事新報 4511:51-57,2010
4. 小林治: インフルエンザの病態と治療. The Word on Hematology 2:4-5,2010
5. 小林治: Biofilm diseases その制御. 感染と抗菌薬 13:389-95,2010

著 書

1. 小林治: アミノグリコシド系抗菌薬耐性 MRSA の発生機序とその制御. MRSA-基礎・臨床・対策-改訂版. 河野茂編. 大阪, 医薬ジャーナル社, 2010.

臨床生理学・ 医用応用工学教室

口 演

1. 寺本圭吾, 三谷博子, 石山陽事¹ (¹虎の門病院): 生体計測における静電防止靴着用有用性について. 第 26 回日本医工学治療学会, 東京, 平成

- 22年4月2-4日.
2. 横山直樹, 三谷博子, 石山陽事¹ (1虎の門病院): 居眠り検知装置の検討. 第26回日本医工学治療学会, 東京, 平成22年4月2-4日.
 3. 三谷博子, 石山陽事¹ (1虎の門病院): 指先センサのみによる呼吸動態の検出とSAS型判定の推定に関する検討. 第21回日本臨床モニター学会, 大阪, 平成22年4月24-25日.
 4. 戸畑裕志: A problem to step up of the clinical engineer. 第49回日本生体医工学会, 大阪, 平成22年6月25-27日.
 5. 三谷博子, 石山陽事¹ (1虎の門病院): Relationship between the brain recognition and the difference of SSRs latency by stimulation of multi modality. 第49回日本生体医工学会, 大阪, 平成22年6月25-27日.
 6. 三谷博子, 石山陽事¹ (1虎の門病院): 指先容積脈波を用いた呼吸動態の検出とSAS型判定の推定に関する検討. 第57回日本臨床検査医学会, 東京, 平成22年9月9-12日.
 7. 三谷博子, 石山陽事¹ (1虎の門病院) (教育講演): 交感神経皮膚反応と交感神経血流反応. 第63回日本自律神経学会, 横浜, 平成22年10月22-23日.
 8. 三谷博子, 石山陽事¹ (1虎の門病院): SSRの立上り潜時を用いた認知機能の神経生理学的検討. 第40回日本臨床神経生理学学会, 神戸, 平成22年10月31日-11月2日.
 9. 松田和樹, 宍戸遥佳, 三谷博子, 戸畑裕志: 音・急速吸気・視覚刺激による交感神経皮膚反応(SSR)と認知機能の基礎的検討. 第39回杏林医学会, 三鷹, 平成22年11月20日.
 10. 上住冬美, 高澤俊彦, 横山直樹, 三谷博子, 戸畑裕志: 居眠り検知パラメータの生理学的検討—耳掛け部より導出される筋電図成分の検討—. 第39回杏林医学会, 三鷹, 平成22年11月20日.
 11. 宍戸悠佳, 松田和樹, 戸畑裕志, 三谷博子: 認知機能低下の早期発見を目的とした新たな検査法—音・急速吸気・視覚刺激による交感神経皮膚反応(SSR). 第2回大学コンソーシアム八王子, 八王子, 平成22年12月4日.
 12. 小机由実, 横山直樹, 戸畑裕志, 三谷博子: 筋電図を用いたストレス度定量化の試み—洗髪動作を対象とした介護者のストレス度—. 第2回大学コンソーシアム八王子, 八王子, 平成22年12月4日.
 13. 高澤俊彦, 上住冬美, 横山直樹, 戸畑裕志, 三谷博子: 居眠り検知装置の開発を目的とした眼鏡型検出器の開発—生理学的パラメータの基礎的検討と耳掛け部から導出される筋電図成分の同定—. 第2回大学コンソーシアム八王子, 八王子, 平成22年12月4日.
 14. 菅沼亨, 藤原考彦, 戸畑裕志, 三谷博子: 電気

メス負荷特性の測定方法に関する検討. 第2回大学コンソーシアム八王子, 八王子, 平成22年12月4日.

15. 河田直樹, 齋藤実花, 戸畑裕志, 三谷博子: 臨床工学における実習教材に関する試作・評価—心電図アンプ, 脈波アンプ, デジタルカウンタ—. 第2回大学コンソーシアム八王子, 八王子, 平成22年12月4日.

論文

1. 三谷博子, 石山陽事¹ (1虎の門病院): コンピュータシミュレーションによる手背部における真の交感神経皮膚反応(SSR)の検出. 自律神経47: 386-392, 2010.
2. 三谷博子, 石山陽事¹ (1虎の門病院): 交感神経皮膚反応の記録とその応用. 神経内科72: 58-66, 2010.

著書

1. 戸畑裕志(分担): 2. 治療機器 2.1 人工呼吸器, MDIC標準テキスト臨床工学. 第3版, 日本医療機器学会 MDIC認定委員会編, 日本印刷株式会社, 2010. P70-74.

先端臨床工学研究室

口演

1. 中島章夫, 須田健二: 可搬型タブレットPCを用いた医療機器点検管理システムの開発と運用. 第85回日本医療機器学会大会, 東京, 平成22年5月14日.
2. 福長一義, 石山陽事, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (1東京電機大・理工): 人工心臓開発の現状とその新技術. 第85回日本医療機器学会大会, 東京, 平成22年5月14日.
3. 中島章夫: The actual situation of the clinical engineer education curriculum and future plan. 第49回日本生体医工学会大会, 大阪, 平成22年6月25日.
4. 横井涼¹, 山中由宇¹, 舟久保昭夫¹, 野中一洋¹, 福長一義, 矢口俊之², 福井康裕¹ (1東京電機大・理工, 2ミシガン大学): Study on development and performance evaluation of the artificial lung for Total Liquid Ventilation. 第49回日本生体医工学会大会, 大阪, 平成22年6月25日.
5. 村田達也¹, 住倉博仁², 三田満男¹, 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之³, 本間章彦¹, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (1東京電機大・理工, 2国立循環器病センター研究所, 3ミシガン大学): Improvement of efficiency and hemolysis characteristic for an enclosed impeller type axial flow blood pump. 第49回日本生体医工学会大会, 大阪, 平成22年6月25日.
6. 山中由宇¹, 横井涼¹, 舟久保昭夫¹, 野中一洋¹, 福長一義, 矢口俊之², 福井康裕¹, 佐藤耕司郎³ (1東京電機大・理工, 2ミシガン大学, 3富士システムズ株式会社): Assessment of the gas exchange performance of the Total Liquid Ventilation system with a slanted operating table. 第49回日本生体医工学会

大会, 大阪, 平成 22 年 6 月 26 日

7. 平井紀光¹, 八木明日香¹, 福長一義, 大竹隆² (¹ 桐蔭横浜大・医用工学部, ² 三千堂治療院): Examination of the Measurement of Reaction of Autonomic nerve by having stimulated Acupuncture point by using Low energy Laser. 第 49 回日本生体医工学会大会, 大阪, 平成 22 年 6 月 26 日
8. 中島章夫: 臨床工学技士育成施設 63 校の現状と将来像. 第 1 回日本高気圧酸素医療技術学会, 沖縄, 平成 22 年 6 月 26 日
9. 中島章夫: 臨床工学技士のカリキュラムについて. 第 9 回日本臨床工学技士教育研究会, 東京, 平成 22 年 8 月 28 日
10. 大貫雅也, 福長一義, 福井裕輝¹, 舟久保昭夫², 福井康裕², 中島章夫, 戸畑裕志, 大瀧純一³ (¹ 国立精神神経センター, ² 東京電機大・理工, ³ 杏林大・保・精神看護学): NIRS を用いたニューロフィードバック手法の検討. 生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会 2010, 大阪, 平成 22 年 9 月 19 日
11. 大塚祥訓, 福長一義, 平野太一¹, 保田 正範², 中島章夫, 戸畑裕志, 舟久保昭夫³, 福井 康裕³, 酒井啓司¹ (¹ 東京大学生産技術研究所, ² 京都電子工業 (株), ³ 東京電機大・理工): 電磁スピニング法による血液粘度計の開発と性能評価. 生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会 2010, 大阪, 平成 22 年 9 月 20 日
12. 中島章夫: 医療機器と安全工学, 第 4 回 IBHRE 検定試験受験のための業界指定講習会プログラム. 平成 22 年 10 月 16 日 (大阪)・30 日 (東京)
13. 中島章夫: 医療機器の原理と取り扱い上の注意, 日本医療機器学会 第 3 回医療機器情報コミュニケータ (MDIC) 認定セミナー, 平成 22 年 10 月 10 日 (福岡)・10 月 17 日 (東京), 10 月 23 日 (名古屋), 10 月 31 日 (東京)
14. 中島章夫, 千葉基樹, 沼田有華: Er:YAG レーザを用いた脳組織蒸散時の簡易温度モニタの開発. 第 31 回日本レーザー医学会大会, 名古屋, 平成 22 年 11 月 14 日
15. 福長一義, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹ 東京電機大・理工): 連続流血液ポンプのインペラ駆動のための誘導カップリングの提案. 第 48 回日本人工臓器学会大会, 仙台, 平成 22 年 11 月 20 日
16. 福長一義, 阿部祐輔¹, 山家智之², 巽英介³, 耐中義之³, 舟久保昭夫⁴, 福井康裕⁴ (¹ 東京大・医学系研究科, ² 東北大・加齢医学研, ³ 国立循環器病センター研究所, ⁴ 東京電機大・理工): 完全人工心臓用カスケード遠心ポンプの開発. 第 48 回日本人工臓器学会大会, 仙台, 平成 22 年 11 月 20 日
17. 福長一義, 阿部祐輔¹, 山家智之², 巽英介³, 増澤徹⁴, 山根隆志⁵, 耐中義之³, 井町宏¹, 舟久保昭夫⁶, 福井康裕⁶ (¹ 東京大・医学系研究科, ² 東北大・加齢医学研, ³ 国立循環器病センター研究所, ⁴ 茨城大・工学部, ⁵ 産業技術研究所, ⁶ 東京電機大・理工): 完全人工心臓用カスケードポンプ (ACCEL PUMP) の開発. 第 39 回人工心臓と補助循環懇話会, 鳥取,

平成 23 年 2 月 18 日

著書

1. 中島章夫, 福長一義: 生体物性・医用材料工学, 中島章夫編, 東京, 医歯薬出版, 2010.8

その他

1. 中島章夫: 負荷抵抗値可変型パソコン制御による電気メスチェッカ, Clinical Engineering, vol.21, No.12, pp1208-1214, 学研メディカル秀潤社

生理・ 生体工学研究室

口 演

1. 嶋津秀昭: 理解すべき工学的基礎知識 I. 第 16 回第 1 種 ME 技術実力検定試験講習会, 東京, 平成 22 年 4 月 11 日.
2. 加藤幸子, 有馬太郎, 小林博子, 嶋津秀昭: 医療職種に認められる痛み評価方法の特徴分析. 第 59 回 (社) 全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 平成 22 年 6 月 12 日.
3. 有馬太郎, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 前腕経穴部における電氣的知覚閾値の計測と評価. 第 59 回 (社) 全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 平成 22 年 6 月 12 日.
4. 渡辺篤志¹, 瀬野晋一郎, 小林博子, 嶋津秀昭 (¹ 杏林大・保・医用情報): Development of the non-contact measurement system of waist circumference for diagnosing the metabolic syndrome. 第 49 回日本生体医工学会大会, 大阪, 平成 22 年 6 月 26 日.
5. 瀬野晋一郎, 渡辺篤志¹, 小林博子, 嶋津秀昭 (¹ 杏林大・保・医用情報): Evaluation of the perception threshold using electrical stimulation for the diabetic neuropathy diagnosis. 第 49 回日本生体医工学会大会, 大阪, 平成 22 年 6 月 27 日.
6. 嶋津秀昭: 知覚・痛覚定量分析装置 PainVision の原理とその臨床的知見 (I). 日本ペインクリニック学会第 44 回大会 モーニングセミナー, 京都, 平成 22 年 7 月 2 日.
7. 渡辺篤志¹, 瀬野晋一郎, 小林博子, 加藤幸子, 嶋津秀昭 (¹ 杏林大・保・医用情報): 腹囲径および腹部断面積の非接触自動計測システムの開発と実用性評価. 生体医工学シンポジウム 2010, 札幌, 平成 22 年 9 月 11 日.
8. 瀬野晋一郎, 加藤幸子, 小林博子, 渡辺篤志¹, 嶋津秀昭 (¹ 杏林大・保・医用情報): 電気刺激に対する体表面知覚閾値における性差および加齢の評価. 生体医工学シンポジウム 2010, 札幌, 平成 22 年 9 月 11 日.
9. 嶋津秀昭: 人の五感を考えるー感覚の生理学的な意味と測定法ー. 八王子学園都市大学いちょう塾公開講座, 八王子, 平成 22 年 9 月 28 日・10 月 5 日・10 月 12 日.
10. 嶋津秀昭: 生体計測における感覚の定量ー人の

痛みは計れるのかー. 実践ME技術講習会(第10回臨床ME専門認定士認定更新講習会), 東京, 平成22年10月23日.

11. 嶋津秀昭: PainVisionにおける痛み定量化の原理と基礎的評価. 第50回日本定位・機能神経外科学会ランチョンセミナー2, 広島, 平成23年1月22日.

論文

1. 渡辺篤志¹, 瀬野晋一郎, 小林博子, 加藤幸子, 嶋津秀昭¹(¹杏林大・保・医用情報): 腹囲径および腹部断面積の非接触自動計測システムの開発と実用性評価. 生体医工学49:156-162, 2011.
2. 瀬野晋一郎, 加藤幸子, 小林博子, 渡辺篤志¹, 嶋津秀昭¹(¹杏林大・保・医用情報): 電気刺激に対する体表面知覚閾値における性差および加齢の評価ー知覚閾値の計測による糖尿病性神経障害の早期発見の可能性ー. 生体医工学49:163-169, 2011.

著書

1. 加藤幸子: 特集 糖尿病と鍼灸治療④糖尿病患者にかかわる鍼灸師の役割. 医道の日本69. 東京, 株式会社医道の日本社, 2010. p.43-47.
2. 加藤幸子: 第13章 自律神経とアロマセラピー. アロマセラピー標準テキスト臨床編. 日本アロマセラピー学会編. 東京, 丸善株式会社, 2010. p.125-135.
3. 嶋津秀昭: 特集 作って理解する医療機器の原理と構造ー電子工作のすすめ: 便利なアイデアレシピ集ー自作のすすめ. Clinical Engineering 21. 嶋津秀昭, 小野哲章編. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2010. p.1163-1165.
4. 嶋津秀昭: 特集 作って理解する医療機器の原理と構造ー電子工作のすすめ: 便利なアイデアレシピ集ー電子工作に便利な部品と測定器, 部品の調達方法. Clinical Engineering 21. 嶋津秀昭, 小野哲章編. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2010. p.1166-1169.
5. 嶋津秀昭: 特集 作って理解する医療機器の原理と構造ー電子工作のすすめ: 便利なアイデアレシピ集ー電子工作に便利な部品と測定器, 電池の利用. Clinical Engineering 21. 嶋津秀昭, 小野哲章編. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2010. p.1172-1173.
6. 嶋津秀昭: 特集 作って理解する医療機器の原理と構造ー電子工作のすすめ: 便利なアイデアレシピ集ー簡単な生体計測機器. Clinical Engineering 21. 嶋津秀昭, 小野哲章編. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2010. p.1188-1195.
7. 嶋津秀昭: 特集 作って理解する医療機器の原理と構造ー電子工作のすすめ: 便利なアイデアレシピ集ー医療機器の電氣的・機械的モデル, サーボ制御による正負圧発生装置. Clinical Engineering 21. 嶋津秀昭, 小野哲章編. 東京,

学研メディカル秀潤社, 2010. p.1228-1230.

8. 嶋津秀昭: 第1章 力学の基礎, 第4章 波動, 第5章 熱と熱力学. 臨床工学講座 医用機械工学. 嶋津秀昭他編. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2011. p.1-38, p.105-167.

医用情報工学研究室

口演

1. 渡辺篤志, 瀬野晋一郎¹, 小林博子¹, 嶋津秀昭¹(¹杏林大・保・生理生体工学): Development of the non-contact measurement system of waist circumference for diagnosing the metabolic syndrome. 第49回生体医工学会, 大阪, 平成22年6月25日-27日.
2. 瀬野晋一郎¹, 渡辺篤志, 小林博子¹, 嶋津秀昭¹(¹杏林大・保・生理生体工学): Evaluation of the perception threshold using electrical stimulation for the diabetic neuropathy diagnosis 第49回生体医工学会, 大阪, 平成22年6月25日-27日.
3. 渡辺篤志, 瀬野晋一郎¹, 小林博子¹, 加藤幸子¹, 嶋津秀昭¹(¹杏林大・保・生理生体工学): 腹囲径および腹部断面積の非接触自動計測システムの開発と実用性評価. 生体医工学シンポジウム2010, 札幌, 平成22年9月10日-11日.
4. 瀬野晋一郎¹, 加藤幸子¹, 小林博子¹, 渡辺篤志, 嶋津秀昭¹(¹杏林大・保・生理生体工学): 電気刺激に対する体表面知覚閾値における性差および加齢の評価. 生体医工学シンポジウム2010, 札幌, 平成22年9月10日-11日.
5. 田中薫, 岡田洋二¹, 丘島晴雄¹(¹杏林大・保・分析化学): Allicinにおける分子軌道(HOMO-LUMO)と抗酸化活性の検討. 日本薬学会第131会年会, 静岡, 平成23年3月28-31日.
6. 岡田洋二¹, 田中薫, 佐藤英助², 丘島晴雄¹(¹杏林大・保・分析化学, ²青森大・薬): Allicin由来2-propenesulfenic acidの抗酸化効果への関与. 日本薬学会第131会年会, 静岡, 平成23年3月28-31日.

論文

1. Y. Okada, K. Tanaka, E. Sato and H. Okajima: Kinetics and antioxidative sites of capsaicin in homogeneous solution. J. Am. Oil Chem. Soc.87:1397-1405,2010.
2. 渡辺篤志, 瀬野晋一郎¹, 小林博子¹, 加藤幸子¹, 嶋津秀昭¹(¹杏林大・保・生理生体工学): 腹囲径および腹部断面積の非接触自動計測システムの開発と実用性評価. 生体医工学,49(1):156-162,2011.
3. 瀬野晋一郎¹, 加藤幸子¹, 小林博子¹, 渡辺篤志, 嶋津秀昭¹(¹杏林大・保・生理生体工学): 電気刺激に対する体表面知覚閾値における性差および加齢の評価. 生体医工学, 49(1):163-169,2011.

著書

1. 渡辺篤志: AD変換した信号を光絶縁によるUSBコネクタで接続する方法. クリニカルエンジニアリング,21(12):1196-1202,2010.
2. 渡辺篤志: 信号を無線通信により安全かつ高速に

送信するシステム. クリニカルエンジニアリング
21(12):1203-1205,2010.

血液浄化療法学研究室

口 演

1. 須田健二, 鈴木祥史, 鈴木直也, 副島昭典: ダイアライザー内血液凝固と種々の圧パラメーターに関する実験的検討. 第55回日本透析医学総会, 神戸, 平成22年6月18日
2. 鈴木祥史, 須田健二, 早坂啓明, 副島昭典: 透析回路固定部材の検討と保持力測定装置の考案. 第55回日本透析医学会総会, 神戸, 平成22年6月18日
3. 副島昭典: 特別講演 — 長期予後を改善する血液透析の技術. 第59回三多摩腎疾患治療医会, 三鷹, 平成22年6月27日
4. 島峰逸朗, 須田健二, 鈴木祥史, 副島昭典: 透析装置の血流量に誤差を与える要因 — 脱血回路内圧と流量誤差の関係について. 第59回三多摩腎疾患治療医会, 三鷹, 平成22年6月27日
5. 鈴木祥史, 山下勇貴, 須田健二, 平岡厚, 松山幸枝¹, 南武志¹, 恵良聖一¹, 副島昭典 (¹岐阜大学医学部): 水素水および還元薬剤を添加した透析液を用いたアルブミンの透析とその効果. 第22回腎とフリーラジカル研究会, 東京, 平成22年10月16日
6. 石川あゆみ, 須田健二, 鈴木祥史, 副島昭典: 向流と平流の違いがクリアランスへ及ぼす影響について. 第60回三多摩腎疾患治療医会, 吉祥寺, 平成22年11月28日
7. 須田健二, 石川あゆみ, 鈴木祥史, 副島昭典: ダイアライザーの向流と平流の違いについて — クリアランスへの影響についての実験的検討. 第1回関東臨床工学会総会, 川口, 平成22年11月7日

論 文

1. 鈴木祥史, 須田健二, 松山幸枝¹, 南武志¹, 恵良聖一¹, 副島昭典 (¹岐阜大学医学部): 糸球体疾患に続発する尿細管間質障害と酸化型血漿albuminの関係 — 種々の尿中パラメーターとの関連. 杏林医会誌 41:19-25,2010.
2. 鈴木祥史, 須田健二, 平岡厚, 村上辰和嘉¹, 松山幸枝², 南武志², 前田貞亮¹, 恵良聖一², 副島昭典 (¹前田腎研究所, ²岐阜大学医学部): 電解還元水を添加した透析液を用いた血漿アルブミンの透析とその効果. 腎とフリーラジカル 第10集, 福永恵, 榎野博史, 編, 東京医学社, 158-163,2010.

著 書

1. 副島昭典: 第104回医師国家試験問題解説書 (分担執筆), 医学評論社, 東京, 2010
2. 副島昭典: CBT こあかり 3-II プール五肢択一型式編 (分担執筆), 医学評論社, 東京 2010.

3. 副島昭典: CBT こあかり 3-III プール五肢択一型式編 (分担執筆), 医学評論社, 東京 2010.
4. 副島昭典: CBT こあかり 3-I プール五肢択一型式編 (分担執筆), 医学評論社, 東京 2010.
5. 副島昭典: 主要症候・医療面接がわかる (分担執筆), 安田幸雄, 編, 医学評論社, 東京, 2010.
6. 副島昭典: CBT こあかり 5リ・コ最新問題編 (分担執筆), 医学評論社, 東京 2010.
7. 副島昭典: 新体系看護学全書 成人看護学 7 腎 (分担執筆), メジカルフレンド社, 東京, 2010.

その他

1. 副島昭典, 飯田博行, 柴崎敏昭, 中村利孝, 他: 平成21年度カドミウム汚染地域住民健康影響調査検討会報告書, 環境省, 2009.

循環器病態生理学研究室

口 演

1. 四倉正之: 知っているようで知らない高血圧のすべて1 高血圧とは. 八王子学園都市大学いちょう塾. 八王子, 平成22年6月4日.
2. 吉野秀朗¹, 四倉正之, 坂田好美¹, 池田隆徳¹ (¹杏林大・医・第二内科): 日常臨床における循環器 Q & A. 第21回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成22年6月7日.
3. 四倉正之: 知っているようで知らない高血圧のすべて2 合併症. 八王子学園都市大学いちょう塾. 八王子, 平成22年6月11日.
4. 四倉正之: 知っているようで知らない高血圧のすべて3 対策とまとめ. 八王子学園都市大学いちょう塾. 八王子, 平成22年6月18日.
5. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成22年7月30日.
6. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成22年9月28日.
7. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成22年10月28日.
8. 吉野秀朗¹, 四倉正之, 坂田好美¹, (¹杏林大・医・第二内科): 日常臨床における循環器 Q & A. 第22回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成22年11月8日.
9. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成22年11月26日.
10. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成23年1月28日.
11. 吉野秀朗¹, 四倉正之, 坂田好美¹, 池田隆徳¹ (¹杏林大・医・第二内科): 日常臨床における循環器 Q & A. 第23回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成23年2月7日.
12. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成23年2月25日.

著 書

1. 四倉正之: 労作性狭心症. 冠攣縮性 (異型) 狭心症. 急性前壁中隔梗塞 (超急性期). 急性前壁

中隔梗塞. 陳旧性前壁中隔梗塞. 急性下壁梗塞. 右室梗塞. 陳旧性下壁梗塞. 急性側壁梗塞. 急性後壁梗塞. 左冠動脈主幹部閉塞による急性心筋梗塞. 非Q波心筋梗塞. 心電図チェックリスト 120. 池田隆徳編, 東京, 中外医学社, 2010. p. 202-227.

病理学研究室

口 演

1. 山本寛, 大河戸光章, 藤井雅彦, 海野みちる¹, 寺戸雄一¹ (杏林大・医・病理学): 前立腺腫瘍組織における抗 Glutamic Acid Decarboxylase-67(GAD-67) 抗体を用いた免疫組織化学的染色の検討. 第59回日本医学検査学会, 神戸, 平成22年5月21日.
2. 郡秀一¹, 旗ひろみ¹, 飯島淳子¹, 大河戸光章, 山本寛, 高見茂², 藤井雅彦, 安井英明 (杏林大・保・細胞診断学, ²杏林大・保・解剖学・細胞生物学): これからの細胞検査士教育—細胞検査士教育のあゆみ—. 第51回日本臨床細胞学会総会, 横浜, 平成22年5月31日.
3. 関根名里子¹, 山本寛, 西村伸大¹, 東克巳¹, 島幸夫², 大河戸光章, 藤井雅彦 (杏林大・保・臨床血液学, ²同・生化学): 杏林大学におけるインターンシップ. 第5回日本臨床検査学教育学会, 弘前, 平成22年8月19日.
4. 山本寛, 大河戸光章, 岡山香里, 藤井雅彦: 杏林大学における病理学検査 e-learning. 第5回日本臨床検査学教育学会, 弘前, 平成22年8月19日.
5. 岡山香里, 大河戸光章, 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦 (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック): LSIL の新たな細胞所見の特徴—二核細胞の圧排基準について—. 第49回日本臨床細胞学会秋期大会, 神戸, 平成22年11月21日.
6. 大河戸光章, 岡山香里, 河村淳平, 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦 (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック): カンジダ膣炎における核肥大細胞. 第49回日本臨床細胞学会秋期大会, 神戸, 平成22年11月21日.
7. 河村淳平, 大河戸光章, 岡山香里, 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 傳田珠美², 吉永陽樹³, 福井正³, 桑尾定仁², 藤井雅彦 (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²東大和病院, ³フクイ産婦人科クリニック): 子宮頸部細胞診材料でのウレアプラズマ感染による細胞形態変化の推定. 第49回日本臨床細胞学会秋期大会, 神戸, 平成22年11月21日.
8. 岡山香里, 大河戸光章, 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦 (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック): 改良 in situ PCR 法—エタノール固定細胞標本における DNA 可視化の戦略—. 第49回日本臨床

細胞学会秋期大会, 神戸, 平成22年11月21日.

9. 岡山香里, 大河戸光章, 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦 (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック): HPV 感染を疑う細胞所見の再検討—実際に HPV-DNA は存在するのか—. 第49回日本臨床細胞学会秋期大会, 神戸, 平成22年11月21日.

論 文

1. 岡山香里, 大河戸光章, 熊谷朋子¹, 藪崎宏美¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦 (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック): LSIL の新たな細胞所見の検討—ASC-US 判定率の減少を目指して—. 日本臨床細胞学会誌 49(5):321-329, 2010.
2. 岡山香里, 大河戸光章, 熊谷朋子¹, 藪崎宏美¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦 (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック): 細胞診標本における改良 in situ PCR 法—シングルコピー HPV の検出—. 日本臨床細胞学会誌 49(6): 393-399, 2010.
3. 岡山香里, 大河戸光章, 熊谷朋子¹, 藪崎宏美¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦 (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック): 新たな HPV 感染所見—空胞を有する細胞とは—. 日本臨床細胞学会誌 50(1):11-17, 2010.

基礎理学療法学研究室

口 演

1. 一場友実, 解良武士¹, 山田拓実², 宮川哲夫³, 宮村章子¹, 八並光信 (日本医療科大・保健医療, ²首都大・健康福祉, ³昭和大・保健医療): リラクゼーション肢位の変化が呼吸運動出力に与える影響. 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 平成22年5月27日-29日.
2. 解良武士¹, 宮村章子¹, 一場友実, 下井俊典² (日本医療科大・保健医療, ²国際医療福祉大・理学): 気道閉塞圧測定の信頼性について. 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜県, 平成22年5月27日-29日.
3. 宮村章子¹, 解良武士¹, 一場友実 (日本医療科大・保健医療): 呼吸数の調節が気道閉塞圧に及ぼす影響. 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 平成22年5月27日-29日.
4. 宮村章子¹, 一場友実, 解良武士¹: 呼吸運動出力の指標である気道閉塞圧からみた呼吸数調節の効果. 第29回関東甲信越ブロック理学療法士学会, つくば, 平成22年9月18日-19日.
5. 一場友実, 宮川哲夫¹, 解良武士², 山田拓実³, 宮村章子², 八並光信 (昭和大・保健医療, ²日本医療科大・保健医療, ³首都大・健康福祉): リラクゼーション肢位の違いが呼吸運動出力及び自律神経機能に与える影響. 第20回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 長崎, 平成22年10月1日-2日.

6. 解良武士¹, 宮村章子¹, 一場友実, 下井俊典² (¹ 日本医療科大・保健医療, ² 国際医療福祉大・理学): 気道閉塞圧測定による換気への影響と測定の信頼性について. 第20回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 長崎, 平成22年10月
7. Miyagawa T¹, Takeda Y², Ichiba T, Kasuga Y³, Nomoto M⁴ (¹Showa Univ, ²Kanagawa Neuro Surg Clin, ³Ichigao Karion Hosp, ⁴Yoowakai Hosp): Effects of mucus clearance on the differences of rheological property and driving pressure during high frequency chest wall oscillation. 56th International Respiratory congress, Las Vegas, Dec.6-9,2010
8. 八並光信, 神山裕司¹, 東條友紀子¹, 門馬博, 倉林準, 一場友実², 高橋秀寿³, 松本由美⁴, 西山和利⁵, 千葉厚郎⁵. 塩川芳昭⁶ (¹杏林大・病院・リハ室, ²杏林大・保・基礎理学, ³杏林大・医学・リハ医学, ⁴杏林大・病院・SU, ⁵杏林大・医・神経内科学, ⁶杏林大・医・脳神経外科学): 脳卒中ユニット (Stroke Unit) における脳卒中患者の転機先からみた機能障害とADL障害に関する検討. 第2回日本ニューロリハビリテーション学会, 名古屋, 平成23年2月12日.

論文

1. 一場友実, 山田拓実¹, 解良武士², 藍原章子², 八並光信, 宮川哲夫³ (¹首都大・健康福祉, ²日本医療科大・保健医療, ³昭和大・保健医療): リラクゼーション肢位の違いが呼吸運動出力及び自律神経機能に与える影響. 理学療法科学 25 (5): 657-662, 2010.
2. 一場友実, 山田拓実¹, 宮川哲夫², 解良武士³, 津田徹⁴, 國分二三男⁵, 八並光信 (¹首都大・健康福祉, ²昭和大・保健医療, ³日本医療科大・保健医療, ⁴霧が丘つだ病院, ⁵昭和大・藤が丘病院): 慢性閉塞性肺疾患患者に対するリラクゼーション肢位の有効性. 日呼ケアリハ学誌 20 (2): 146-151, 2010.

運動障害系 理学療法学研究室

口演

1. 榎本雪絵, 木村義徳¹, 玉井直子², 望月秀樹², 竹内孝仁³ (¹高崎医療技術福祉専門学校, ²高齢者リハビリテーション研究所, ³国際医療福祉大学大学院): 運動器の機能向上事業参加者の家族介護者における介護負担感について～介護負担軽減群と悪化群の比較から. 日本自立支援介護学会第4回学術大会, 東京, 平成22年5月22-23日
2. 野村晴美¹, 小平めぐみ², 井上善行³, 榎本雪絵 (¹国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科, ²鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院, ³マナーハウス南横浜居宅介護支援センター): 特別養護老人ホームにおける肺炎とその予防ケアの実態. 日本自立支援介護学会第4回

学術大会, 東京, 平成22年5月22-23日

3. 小平めぐみ¹, 野村晴美², 井上善行³, 榎本雪絵 (¹鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院, ²国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科, ³マナーハウス南横浜居宅介護支援センター): 特別養護老人ホームの介護の質の向上とチームケアに関する研究～おむつ・排泄の自立を中心に. 日本自立支援介護学会第4回学術大会, 東京, 平成22年5月22-23日
4. 村上幸士, 桜庭景植¹ (¹順天堂大学大学院・スポーツ健康科学研究科・スポーツ医学): 腰痛の有無に対する腹部筋群の筋厚比較～超音波画像を使用して～. 第45回日本理学療法学術大会, 岐阜, 平成22年5月27-29日
5. 齋藤昭彦: マニュアルセラピー (腰椎). 日本理学療法科学学会講習会, 東京, 平成22年7月4日
6. 西田悠一郎¹, 高橋秀寿², 榎本雪絵³, 岡島康友² (¹杏林大学医学部付属病院リハビリテーション室, ²杏林大学医学部リハビリテーション医学教室, ³杏林大学保健学部): 健常成人における床上筋力トレーニングの呼吸循環反応と筋活動量の検討. 第16回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 鹿児島, 平成22年7月18-19日
7. 榎本雪絵, 西川美奈子¹, 関口誠¹, 山本亮輔¹, 石黒裕子¹, 岩上広一¹ (¹世田谷区立きたざわ苑): デイサービス長期利用者の身体機能について. 第9回日本ケアマネジメント学会, 新座, 2010年8月28-29日
8. 齋藤昭彦: マニュアルセラピー (頸椎). 日本理学療法科学学会講習会, 東京, 平成22年9月5日
9. 榎本雪絵: 特別養護老人ホームにおける実践的な生活リハビリ. 第5回自立支援介護向上研修会 長野高齢者福祉協会, 平成22年9月16日
10. 榎本雪絵: 健やかな高齢期のために. 八王子学園都市大学イチョウ塾, 平成22年9月21日
11. 齋藤昭彦: 神経系モビライゼーション. 日本理学療法科学学会講習会, 東京, 平成22年10月17日
12. 村上幸士, 桜庭景植¹ (¹順天堂大学大学院・スポーツ健康科学研究科・スポーツ医学): 腰痛経験の有無にて比較した腹横筋および周辺筋膜の変化～超音波画像を使用して～. 第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会, つくば, 平成22年11月6-7日
13. 齋藤昭彦: 関節モビライゼーション (下肢). 日本理学療法士協会理学療法士講習会, 東京, 平成22年11月7日

論文

1. 榎本雪絵, 木村義徳¹, 玉井直子², 望月秀樹², 竹内孝仁³ (¹介護老人保健施設リハパーク舞岡, ²高齢者リハビリテーション研究所, ³国際医療福祉大学大学院): 運動器の機能向上事業参加者

の家族介護者の介護負担感についてⅡ－介護負担感軽減群と悪化群の比較から. 日本自立支援介護学, 4: 54-63, 2010.

2. 小平めぐみ¹, 野村晴美², 井上善行³, 榎本雪絵¹ (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院,² 国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科, ³ マナーハウス南横浜居宅介護支援センター): 特別養護老人ホームの介護の質の向上とチームケアに関する研究Ⅱ - おむつ・排泄の自立を中心に. 日本自立支援介護学, 4: 42-52, 2010
3. 榎本雪絵: 自覚症状別フィジカルアセスメント 3 痛み. 理学療法ジャーナル 44(11): 1003-1009, 2010
4. 村上幸士, 桜庭景植¹, 永井康一² (¹ 順天堂大学大学院・スポーツ健康科学研究科・スポーツ医学,² 医療法人清恵会田村外科病院・放射線部門): 腰痛の有無にて比較した腹部筋群の筋厚～超音波画像を使用して～. 理学療法科学 25(6): 893-897, 2010
5. 村上幸士, 桜庭景植¹ (¹ 順天堂大学大学院・スポーツ健康科学研究科・スポーツ医学): 坐位での有効な腹横筋トレーニングの検討～超音波診断装置による筋厚を中心に～. 理学療法学 37(7): 477-484, 2010
6. 村上幸士, 齋藤昭彦: 腰椎部の不安定性と理学療法のポイント. 理学療法 27(11): 1327-1334, 2010
7. 村上幸士, 桜庭景植¹, 永井康一² (¹ 順天堂大学大学院・スポーツ健康科学研究科・スポーツ医学,² 医療法人清恵会田村外科病院・放射線部門): 腹横筋の収縮による胸腰筋膜の変化～筋膜を含めた腹横筋の超音波画像に着目して～. 日本臨床スポーツ医学会誌 19(1): 102-107, 2011
8. Murakami T, Sakuraba K¹ & Nagai K² (¹ Department of Sports Medicine, Graduate School of Health and Sports Science, Juntendo University, ² Department of Radiology, Tamura Surgical Hospital): Comparison of changes in the transversus abdominis and neighboring fascias in subjects with and without a history of low back pain using ultrasound imaging. J Phys Ther Sci 23(2): 317-322, 2011

神経発達障害系 理学療法学研究室

口 演

1. 潮見泰藏: 課題指向型アプローチに基づく脳卒中理学療法. 長崎県理学療法士会主催平成 22 年度第 1 回学術研修会, 長崎, 平成 22 年 6 月 27 日
2. 潮見泰藏: 脳卒中患者に対する課題指向型アプローチ. 京都府理学療法士会主催研修会, 京都, 平成 22 年 7 月 4 日.
3. 潮見泰藏: 脳卒中患者に対する基本的理学療法の進め方. 日本理学療法士協会主催理学療法士講習会, 三鷹, 平成 22 年 9 月 12 日.
4. 潮見泰藏: 脳卒中患者に対する標準的理学療法. 関東甲信越ブロック理学療法士学会, 茨城, 平成 22 年 9 月 18 日
5. 潮見泰藏: 教育ガイドラインに基づいた臨床実習の展開 - 協会の方針と課題 -. 四国ブロック臨床実習指導者研修会, 香川, 平成 22 年 9 月 25 日.
6. 潮見泰藏: 臨床実習教育体制を考える 第 45 回日本理学療法学会学術研修大会, 愛媛, 平成 22 年 10 月 2 日.
7. 潮見泰藏: 脳卒中患者に対する機能的課題達成のためのトレーニング戦略. 群馬県理学療法士会主催臨床講習会, 前橋, 平成 22 年 10 月 17 日.
8. 潮見泰藏: 脳卒中患者に対する基本的理学療法の進め方. 日本理学療法士協会主催理学療法士講習会, 宮崎, 平成 22 年 11 月 7 日.
9. 潮見泰藏: 脳卒中患者に対する課題指向型アプローチの理論と実際. 理学療法科学学会, 東京, 平成 22 年 12 月 4 日.
10. 潮見泰藏: 専門教育水準. 認定理学療法士必須研修会 (教育管理系専門領域), 日本理学療法士協会教育管理系専門領域研究部会, 東京, 平成 22 年 12 月 12 日
11. 潮見泰藏: 課題指向型アプローチ (理学療法における運動学習の基礎と臨床応用), 日本理学療法士協会主催理学療法講習会, 群馬, 平成 23 年 2 月 4 日
12. 潮見泰藏: リハビリテーションプログラムにおけるリーズニング. 戸田中央病院グループ研修会, 東京, 平成 23 年 2 月 19 日.
13. 中野尚子: 新生児理学療法の科学的基礎 - 新生児の general movements (GMs) 評価の客観化の試み -. 第 50 回理学療法科学学会, 川越, 平成 22 年 4 月 18 日.
14. 中野尚子: シンポジウム「NICU から地域へ」 - 早産児の発達支援 -. 第 9 回行動発達研究会, 東京, 平成 22 年 6 月 13 日
15. 中野尚子: 新生児の予後予測をめぐって: GMs 評価. 松本カンファレンス, 松本, 平成 22 年 9 月 11-12 日
16. 中野尚子: GMs と予後の関係, GMs 研究会, 東京大学, 平成 22 年 9 月 25 日
17. 中野尚子: 赤ちゃん運動 - 正常姿勢運動発達について -. 産経新聞 / 赤ちゃん学会主催 新赤ちゃん学入門講座, 東京, 平成 22 年 10 月 2 日
18. 中野尚子: 新生児の評価 general movements (GMs). 理学療法士講習会「NICU における理学療法」. 安曇野, 平成 22 年 10 月 10 日.
19. 中野尚子: 新生児の理学療法 (新生児発達支援). 理学療法士講習会「NICU における理学療法」. 安曇野, 平成 22 年 10 月 10 日.
20. 中野尚子: 理学療法士講習会「脳性麻痺の評価と治療」. 東京, 平成 22 年 12 月 14 日
21. 中野尚子: fidgety general movements の細分化の試み, GMs 研究会, 東京, 平成 23 年 1 月 29 日
22. 橋立博幸, 原田和宏, 山上徹也, 浅川康吉, 二瓶健司, 金谷さとみ: 地域在住の障害高齢者における軽度

認知障害の有無と心身機能および活動との関連. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成 22 年 10 月 27-28 日.

23. 原田和宏, 橋立博幸, 山上徹也, 浅川康吉, 二瓶健司, 金谷さとみ: 軽度認知障害の在宅高齢者における行動・心理症状. 家族評価による有症割合と重症度. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 東京, 平成 22 年 10 月 27-28 日.
24. Hashidate H, Shimada H, Shiomi T, Uchiyama Y, Sasamoto N: The subjective risk rating of specific tasks for assessing risks of falls in older people. 11th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy, Bali, October.10-13,2010.
25. 橋立博幸, 島田裕之, 長田けさ枝, 森本頼子, 笹本憲男: 介護予防通所介護における 12 ヶ月間の運動器機能向上プログラムが地域在住する 85 歳以上の要支援高齢者の生活機能に及ぼす効果. 第 45 回日本理学療法学会大会, 岐阜, 平成 22 年 5 月 27-29 日.
26. 橋立博幸, 原田和宏: E-SAS ワークショップ. 社団法人日本理学療法士協会生活環境支援系理学療法研究部会第 2 回学術集会セミナー, 弘前, 平成 22 年 12 月 4 日.
27. 橋立博幸, 金谷さとみ: 介護予防で活力ある街へ! ~生活のひろがりを目指して~. 社団法人日本理学療法士協会介護予防講演会, 群馬, 平成 22 年.

論文

1. 今井樹, 須藤裕美, 潮見泰藏: 脳卒中患者を対象とした理学療法研究における評価指標の使用動向に関する調査. 理学療法科学, 24(4): 603-606, 2010.
2. 鴨下雅子, 本宮光信, 立谷守, 田丸景子, 高橋美和, 武田夢人, 猪狩信也, 藤澤祐基, 潮見泰藏: 脳血管障害患者における転倒に関する自己効力感と動作遂行能力の関係. 理学療法—臨床・研究・教育, 18: 35-38, 2011.
3. 潮見泰藏: 脳卒中患者に対する課題指向型アプローチ. 理学療法京都, 40: 32-35, 2011.
4. Nakano H, Kihara H, Nakano J, Konishi Y: The influence of positioning on spontaneous movements of preterm infants. J. Phys. Ther. Sci., 22:337-344, 2010.
5. 大沼剛, 橋立博幸, 牧迫飛雄馬, 阿部勉, 鈴川芽久美, 吉田英世, 島田裕之: 歩行時側方傾斜外乱刺激に対する反応動態. 高齢者と若年者の比較. 理学療法科学, 25: 299-303, 2010.
6. 橋立博幸: 通所サービスにおける介護予防の効果. 理学療法ジャーナル, 45: 125-133, 2010.

著書

1. 潮見泰藏: 理学療法士教育の課題. 実践! 理学療法スキル 医歯薬出版, 10-13 頁, 平成 22 年.

その他

1. 中野尚子 (杏林大・保・神経発達障害系理学療法士): 行動発達研究会第 9 回研修会企画・開催. 東京, 平成 22 年 6 月 13 日

内部障害系 理学療法学研究室

口演

1. 林大二郎¹, 湯藤裕美¹, 沼波香寿子¹, 澤田絵里佳¹, 中村友唯香¹, 長尾栄子¹, 伊藤晃範², 鷺頭由宜², 松浦芳和², 八並光信 (¹札幌北楡病院, ²開成病院): 悪性リンパ腫に対する血液疾患患者に対する化学療法の影響と理学療法効果について. 札幌市病院学会, 北海道, 平成 22 年 2 月 6 日
2. 小宮山一樹¹, 上迫道代¹, 八並光信, 石川愛子², 辻哲朗³, 里宇明元³, 加藤淳², 相佐好伸⁴, 森毅彦⁴, 岡本真一郎⁴ (¹慶應義塾大・病院・リハ科, ²慶應義塾大・大学院, ³慶應義塾大・医・リハ医学, ⁴慶應義塾大・医・血液内科): 当院の造血幹細胞移植患者における呼吸循環機能変化と理学療法効果の検討. 第 32 回日本造血細胞移植学会, 浜松, 平成 22 年 2 月 19 日 -20 日.
3. 上迫道代¹, 小宮山一樹¹, 八並光信, 石川愛子², 辻哲朗³, 里宇明元³, 加藤淳², 相佐好伸⁴, 森毅彦⁴, 岡本真一郎⁴ (¹慶應義塾大・病院・リハ科, ²慶應義塾大・大学院, ³慶應義塾大・医・リハ医学, ⁴慶應義塾大・医・血液内科): 同種造血幹細胞移植患者の筋力変化からみた理学療法効果の検討. 第 32 回日本造血細胞移植学会, 浜松, 平成 22 年 2 月 19 日 -20 日.
4. 東條友紀子¹, 八並光信, 神山裕司¹, 高橋秀寿², 岡島康友², 栗田浩樹³, 西山和利³, 松本由美⁴, 千葉厚郎⁵. 塩川芳昭⁵ (¹杏林大・病院・リハ室, ²杏林大・医学・リハ医学, ³杏林大・医・脳神経外科学, ⁴杏林大・病院・SU, 杏林大・医・神経内科学⁵): 急性期脳卒中における入院時基本動作能力を用いた歩行能力の予後予測. 第 35 回日本脳卒中学会, 盛岡, 平成 22 年 4 月 15 日 -17 日.
5. 神山裕司¹, 八並光信, 高橋秀寿², 東條友紀子¹, 岡島康友², 栗田浩樹³, 西山和利³, 松本由美⁴, 千葉厚郎⁵. 塩川芳昭⁵ (¹杏林大・病院・リハ室, ²杏林大・医学・リハ医学, ³杏林大・医・脳神経外科学, ⁴杏林大・病院・SU, 杏林大・医・神経内科学⁵): 脳卒中急性期における SIAS 下肢運動項目を用いた移動・移乗能力の予後予測. 第 35 回日本脳卒中学会, 盛岡, 平成 22 年 4 月 15 日 -17 日.
6. 佐藤敦子¹, 八並光信, 東條友紀子¹, 高橋秀寿², 岡島康友², 松本由美³, 栗田浩樹, 西山和利⁴, 千葉厚郎⁵. 塩川芳昭⁵ (¹杏林大・病院・リハ室, ²杏林大・医学・リハ医学, ³杏林大・病院・SU, ⁴杏林大・医・脳神経外科学, 杏林大・医・神経内科学⁵): 大都市圏の急性期病院における脳卒中リハビリテーションの転帰に関する実態調査. 第 35 回日本脳卒中学会, 盛岡, 平成 22 年 4 月 15 日 -17 日.
7. 林大二郎¹, 八並光信, 湯藤裕美¹, 沼波香寿子¹, 澤田絵里佳¹, 中村友唯香¹, 伊藤晃範², 鷺頭由宜², 松浦芳和², 江渡奈保子², 内田学³ (¹開成病院, ²札幌北楡病院, ³健康科学大学): 血液疾患患者に対する化学療法の影響と理学療法効果について

- 一非ランダム化比較研究—。第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 平成22年5月27日-29日
8. 八並光信, 神山裕司¹, 東條友紀子¹, 門馬博, 倉林準, 高橋秀寿², 岡島康友², 松本由美³, 西山和利⁴, 千葉厚郎⁴. 塩川芳昭⁵ (杏林大・病院・リハ室,² 杏林大・医学・リハ医学,³ 杏林大・病院・SU,⁴ 杏林大・医・神経内科学,⁵ 杏林大・医・脳神経外科学): 超急性期からの脳卒中リハビリテーションのアウトカムに関わる要因について. 第14回バイオフィリアリハビリテーション学会, 豊橋, 平成22年9月4日.
 9. 齊藤剛史¹, 大森茂樹², 河原常郎¹, 倉林準, 八並光信 (鎮誠会,² 千葉大・医学薬学府): 前腕回内外と手関節の掌背屈運動との関連性について. 第14回バイオフィリアリハビリテーション学会, 豊橋, 平成22年9月4日.
 10. 河原常郎¹, 大森茂樹², 藤原正之¹, 和久井鉄城¹, 倉林準, 八並光信 (鎮誠会,² 千葉大・医学薬学府): 後進階段動作の三次元解析. 第14回バイオフィリアリハビリテーション学会, 豊橋, 平成22年9月4日.
 11. 大森茂樹¹, 笹田周作², 大塚裕之¹, 小宮山伴与志³, 倉林準, 八並光信 (千葉大・医学薬学府,² 東京学芸大・大学院,³ 千葉大学・教育学部): 下肢pedaling運動における体幹筋群皮膚反射の変化. 第14回バイオフィリアリハビリテーション学会, 豊橋, 平成22年9月4日.
 12. Tojo Y¹, Yatsunami M, Kamiyama H¹, Takahashi H¹, Okajima Y¹, Nishiyama K¹, Matsumoto Y¹, Chiba A¹, Shiokawa Y¹ (Kyorin Univ Hospital): Prediction of ambulatory ability at discharge for patients in the stroke unit by use of their ability of bed mobility at admission. 7th World Stroke Congress, Seoul, October 13 - 16, 2010
 13. 倉林準, 西田隆一郎¹, 大森茂樹², 藤原正之², 和久井鉄城², 門馬博, 八並光信 (鎮誠会,² 千葉大・医学薬学府): 変形性膝関節症患者における歩行の特徴. 第37回日本臨床バイオメカニクス学会, 京都, 平成22年11月1日-2日.
 14. 西川佳男¹, 香川美仁, 倉林準 (拓殖大学・工学部・大学院,² 拓殖大学・工学部): 表面筋電位による前腕動作の実時間識別法. 第10回日本リハビリテーションネットワーク研究会学術集会, 東京, 平成22年12月5日.
 15. 八並光信, 神山裕司¹, 東條友紀子¹, 門馬博, 倉林準, 一場友実², 高橋秀寿³, 松本由美⁴, 西山和利⁵, 千葉厚郎⁵. 塩川芳昭⁶ (杏林大・病院・リハ室,² 杏林大・保・基礎理学,³ 杏林大・医学・リハ医学,⁴ 杏林大・病院・SU,⁵ 杏林大・医・神経内科学,⁶ 杏林大・医・脳神経外科学): 脳卒中ユニット (Stroke Unit) における脳卒中患者の転機先からみた機能障害とADL障害に関する検討. 第2回日本ニューロリハビリテーション学会, 名古屋, 平成23年2月12日.
 16. 青砥尚晶¹, 大森茂樹², 倉林準, 八並光信 (鎮誠会,² 千葉大・医学薬学府): 筋疲労が箸動作効率に与える影響. 第2回日本ニューロリハビリテーション学会, 名古屋, 平成23年2月12日. 大森茂樹¹, 笹田周作², 大塚裕之², 小宮山伴与志², 倉林準, 八並光信 (千葉大・医学薬学府,² 鎮誠会): 末梢神経への痛み刺激が脳波へ与える影響. 第2回日本ニューロリハビリテーション学会, 名古屋, 平成23年2月12日.
 17. 島津和憲¹, 大森茂樹¹, 倉林準, 八並光信 (鎮誠会,² 千葉大・医学薬学府): 健康成人と高齢者の円背(様)姿勢での頸部可動域の変化について. 第2回日本ニューロリハビリテーション学会, 名古屋, 平成23年2月12日.
 18. 東條友紀子¹, 八並光信, 高橋秀寿², 神山裕司¹, 西山和利³, 松本由美⁴, 千葉厚郎³. 塩川芳昭⁵ (杏林大・病院・リハ室,² 杏林大・医学・リハ医学,³ 杏林大・医・神経内科学,⁴ 杏林大・病院・SU,⁵ 杏林大・医・脳神経外科学): 急性期脳卒中における入院時基本動作能力を用いた歩行能力の予後予測. 第2回日本ニューロリハビリテーション学会, 名古屋, 平成23年2月12日.
- ### 論文
1. 林大二郎¹, 伊藤晃範¹, 鷲頭由宜¹, 湯藤裕美², 内田学³, 八並光信 (開成病院,² 札幌北楡病院,³ 健康科学大学): 悪性リンパ腫に対する血液疾患患者に対する化学療法の身体的影響と理学療法効果について. 臨床福祉ジャーナル7(1),45-49, 2010.
- ### 著書
1. 東條友紀子¹, 門馬博, 岡島康友² (杏林大・病院・リハ室,² 杏林大・医学・リハ医学): ストロークユニットにおける理学療法①. 理学療法MOOK10 高齢者の理学療法 第2版. 森本榮(編), 東京, 三輪書店, 2011.p. 110-115.

